

令和5年度 第2回 足立区地域包括ケアシステム推進会議

日時: 令和6年3月15日(金)午後2時から
会場: 足立区役所 中央館8階 特別会議室

1 議題

- (1) 令和5年度地域包括支援センターの業務委託評価の結果について P 1
- (2) 令和6年度スマホ教室実施方法の見直しについて P 2
- (3) 令和5年度「ぱく増し」事業の取組について P 4
- (4) 令和6年度足立区地域包括ケアシステム推進会議の部会再編案について P 7

2 報告

- (1) あだちお部屋さがしサポート事業の実績および進捗について P10
- (2) 長寿健康増進事業の終了について P11
- (3) 総合事業サービス検討会の発足について P14
- (4) 介護予防・日常生活支援総合事業報酬改定について P16
- (5) 令和5年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施「食べてフレイル予防」事業の取組について P17
- (6) 令和5年度医療・介護連携研修の実施結果について P21
- (7) 令和5年度地域ケア会議推進事業の実施報告について P24
- (8) 「すこやかプラザ あだち」の概要について P25
- (9) 令和5年度認知症月間の実施結果について P27
- (10) 令和5年度あたまの健康度測定（認知症検診推進事業）の実施結果について P29

以上

件 名	令和 5 年度地域包括支援センターの業務委託評価の結果について																				
所 管 部 課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課																				
内 容	<p>標記の件について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 実施期間及び方法</p> <p>(1) 期間 令和 6 年 1 月 2 3 日～令和 6 年 2 月 2 日</p> <p>(2) 方法</p> <table border="1" data-bbox="477 701 1370 969"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>評価者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">委員評価</td> <td>地域包括支援センター運営協議部会委員 5 名 (学識含む)</td> </tr> <tr> <td>区管理職 3 名</td> </tr> <tr> <td>履行評価</td> <td rowspan="2">区職員事業担当 (3 課 6 係 : 3 0 名)</td> </tr> <tr> <td>取組評価</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 結果</p> <p>2 5 か所の地域包括支援センターの評価結果は、別紙のとおり</p> <table border="1" data-bbox="450 1131 1347 1310"> <thead> <tr> <th>評価の合計</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>良好 (8 割以上)</td> <td>1 9 か所</td> <td>2 5 か所</td> </tr> <tr> <td>普通 (6 割以上 8 割未満)</td> <td>6 か所</td> <td>0 か所</td> </tr> <tr> <td>不良 (6 割未満)</td> <td>0 か所</td> <td>0 か所</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 今後の流れ</p> <p>(1) 評価結果の報告及び通知</p> <p>ア 令和 6 年 2 月 2 9 日 地域包括支援センター運営協議部会に報告する。</p> <p>イ 令和 6 年 2 月下旬～3 月上旬 各地域包括支援センターに評価結果を通知する。</p> <p>(2) 評価結果の報告</p> <p>ア 令和 6 年 3 月 1 5 日 地域包括ケアシステム推進会議に評価結果を報告する。</p> <p>イ 令和 6 年 6 月 厚生委員会に評価結果、評価結果に基づく指導の実施状況を報告する。厚生委員会への報告後、区ホームページに公表する。</p>	内容	評価者	委員評価	地域包括支援センター運営協議部会委員 5 名 (学識含む)	区管理職 3 名	履行評価	区職員事業担当 (3 課 6 係 : 3 0 名)	取組評価	評価の合計	R4	R5	良好 (8 割以上)	1 9 か所	2 5 か所	普通 (6 割以上 8 割未満)	6 か所	0 か所	不良 (6 割未満)	0 か所	0 か所
内容	評価者																				
委員評価	地域包括支援センター運営協議部会委員 5 名 (学識含む)																				
	区管理職 3 名																				
履行評価	区職員事業担当 (3 課 6 係 : 3 0 名)																				
取組評価																					
評価の合計	R4	R5																			
良好 (8 割以上)	1 9 か所	2 5 か所																			
普通 (6 割以上 8 割未満)	6 か所	0 か所																			
不良 (6 割未満)	0 か所	0 か所																			

令和 6 年 3 月 1 5 日

件 名	令和 6 年度スマホ教室実施方法の見直しについて																																			
所 管 部 課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課																																			
内 容	標記の件について、以下のとおり報告する。																																			
	1 令和 5 年度新規事業の実施から見られた課題																																			
	(1) Zoom でオンライン体操教室への参加者が少ない。 (2) スマホ教室から Zoom 体操教室へ効果的につなげられていない。																																			
	令和 5 年度開始のスマホ関連事業実施状況 (1 2 月末時点)																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th rowspan="2">定員</th> <th colspan="2">参加者合計</th> <th rowspan="2">講義内容</th> </tr> <tr> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はじめてのスマホ教室 (体験コース)</td> <td>14回</td> <td>20人/回 (計280人)</td> <td colspan="2">207人 59人 148人</td> <td>YouTube の見方、脳トレ等の体験 (120分)</td> </tr> <tr> <td>はじめてのスマホ教室 (基礎コース)</td> <td>21回</td> <td>20人/回 (計420人)</td> <td colspan="2">311人 81人 230人</td> <td>Wi-Fi、QR コード、LINE、防災アプリ、Aメール等 (120分)</td> </tr> <tr> <td>Zoom でオンライン体操教室事前説明会</td> <td>35回</td> <td>20人/回 (計700人)</td> <td colspan="2">188人 36人 152人</td> <td>Zoom 接続方法・体験 (60分)</td> </tr> <tr> <td>Zoom でオンライン体操教室</td> <td>29回</td> <td>20人/回 (計580人)</td> <td colspan="2">214人 41人 173人</td> <td>座位での足腰のストレッチ、体操</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	実施回数	定員	参加者合計		講義内容	男性	女性	はじめてのスマホ教室 (体験コース)	14回	20人/回 (計280人)	207人 59人 148人		YouTube の見方、脳トレ等の体験 (120分)	はじめてのスマホ教室 (基礎コース)	21回	20人/回 (計420人)	311人 81人 230人		Wi-Fi、QR コード、LINE、防災アプリ、Aメール等 (120分)	Zoom でオンライン体操教室事前説明会	35回	20人/回 (計700人)	188人 36人 152人		Zoom 接続方法・体験 (60分)	Zoom でオンライン体操教室	29回	20人/回 (計580人)	214人 41人 173人		座位での足腰のストレッチ、体操
	事業名	実施回数	定員	参加者合計				講義内容																												
男性				女性																																
はじめてのスマホ教室 (体験コース)	14回	20人/回 (計280人)	207人 59人 148人		YouTube の見方、脳トレ等の体験 (120分)																															
はじめてのスマホ教室 (基礎コース)	21回	20人/回 (計420人)	311人 81人 230人		Wi-Fi、QR コード、LINE、防災アプリ、Aメール等 (120分)																															
Zoom でオンライン体操教室事前説明会	35回	20人/回 (計700人)	188人 36人 152人		Zoom 接続方法・体験 (60分)																															
Zoom でオンライン体操教室	29回	20人/回 (計580人)	214人 41人 173人		座位での足腰のストレッチ、体操																															
※ 参加者数は延人数																																				
2 部会委員意見																																				
(1) 高齢者に長時間の教室は長くないか。 (2) 事前説明会で Zoom の体験もできるようにしてはどうか。 (3) 終了後に簡単な相談ができる時間は作れないか。 (4) Zoom は覚えるのに時間がかかるのではないか。 (5) 固定開催ではなく、様々な日時で開催できないか。																																				
3 部会委員意見への対応																																				
(1) 休憩時間を設け、長時間でも負担なく参加できるようにする。 (2) 教室時間内に Zoom の体験ができる時間を設ける。 (3) 終了後に困りごとを相談できる時間を設ける。 (4) テキストを自宅でも振り替えられる内容に修正する。 (5) 実施事業者が所有するスタジオ確保の都合上、次年度も固定曜日にせざるを得ないが、引き続き検討していく。																																				

4 令和6年度実施方法

令和5年度は別々に開催していたスマホ教室事業を、令和6年度から一本化して実施していく。

Wi-Fi、QRコード Zoom 操作等	Zoomで オンライン 体操教室	休憩	オンラインアン ケート入力、足 立区公式LINE及 びAメールの 説明	グループにわか れて、スマホに 関する困りごと 相談
1時間	30分	10分	1時間	20分

(1) 実施概要

ア 日時

水曜日 午後1時30分から午後4時30分まで

※ 継続実施する「Zoomでオンライン体操教室」（毎週水曜日
午後2時30分から15時まで）に体験参加する。

イ 場所

地域学習センター、生涯学習センター

ウ 回数

毎月5回（全5ブロックごとに各1回ずつ）開催

5 今後の方針

- (1) 友愛クラブ連合会やシルバー人材センターに対して、周知だけでなく参加者を募るため、関係各所に出向いて、参加を促していく。
- (2) ICT機器を取り入れた介護予防事業のデジタル化を見据え、スマホを活用した介護予防事業の再構築を検討していく。

件 名	令和 5 年度「ぱく増し」事業の取組について								
所 管 部 課	福祉部 高齢施策推進室 地域包括ケア推進課								
内 容	<p>標記の件について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 令和 5 年度の方針 6 5 歳以上の区民に広く「ぱく増し」を周知する。</p> <p>2 介護予防・日常生活支援総合事業部会からの意見及び事業反映</p> <p>(1) 「ぱく増し」キャンペーン商品 2 月「ぱく増し」月間キャンペーン「アンケートに答えてぱく増し商品を当てよう！」（別添）の商品選出に関し、区内業者である島田屋製菓のバウムクーヘンのご意見をいただき、新たに加えた。</p> <p>(2) 普及啓発品 7 月の部会時は、電子レンジで魚など焼くことができるフィルムを第一候補として検討していることを報告し賛同いただいたが、火災等の発災があったという注意喚起があり、危険性を考え断念した。また、エコバック（透けているもの）も候補に出していただいたが、金額面より断念した。 単価、環境面、普及啓発力を考慮し「手ぬぐい」を作製した。</p> <p>3 2 月「ぱく増し」月間の事業について</p> <p>(1) ぱく増し月間キャンペーン「アンケートに答えてぱく増し商品を当てよう！」回答状況</p> <table border="1" data-bbox="480 1350 1182 1563"> <thead> <tr> <th>回答方法</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オンライン（二次元コード読込）</td> <td>1, 4 5 6</td> </tr> <tr> <td>専用はがき（切手は自己負担）</td> <td>1, 7 1 7</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3, 1 7 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 普及啓発品（手ぬぐい）の配付【6 5 歳以上の方対象】 あだち広報（1 / 2 5 号）の発行に合わせ、地域包括支援センター（以下、ホウカツ）にて上記（1）のアンケートに回答した方に手ぬぐいとリーフレットを合わせて配付した。 3 月以降はホウカツの実態把握訪問時に配付する。</p> <p>(3) スーパーとの連携 スーパー 1 5 店舗（イトーヨーカドー 2 店舗、ヨーク 3 店舗、ベルクス 1 0 店舗）との連携 ア 肉、魚、卵、大豆製品等のたんぱく質を多く含む食品コーナーにのぼり設置 イ たんぱく質が 2 0 g 程度とれる弁当等にぱく増しシールを貼付（一部スーパー） ウ 月間ポスター掲示、はがき付き応募用紙の配架</p>	回答方法	回答数	オンライン（二次元コード読込）	1, 4 5 6	専用はがき（切手は自己負担）	1, 7 1 7	合 計	3, 1 7 3
回答方法	回答数								
オンライン（二次元コード読込）	1, 4 5 6								
専用はがき（切手は自己負担）	1, 7 1 7								
合 計	3, 1 7 3								

エ 試食イベント実施 2月17日(土) 10時~15時
 イトーヨーカドー(アリオ西新井店)の協力により、「ぱく増し」メニューの試食コーナーの実施



写真1・2 スーパー店頭

写真3 肉売り場



写真4 お弁当へのシール貼付



写真6 試食コーナー(アリオ西新井)



写真5 試食(豆腐バーの肉巻き)

(4) 食品メーカーとの連携
 コラボレシピの開発

ア 味の素(鍋キューブを使ったぱく増しレシピ2品)



写真6 鶏とキャベツのうま塩バター煮



写真7 鮭と豆腐・キャベツのキムチレンジ蒸し

イ キューピー(ドレッシングを使ったぱく増しレシピ2品)



写真8 グリルチキンの黒酢たまねぎサラダ



写真9 豚こまの焼肉サラダ

ウ 区内スーパー売場等にて、コラボレシピのPOPやのぼり等を掲出



写真10 味の素掲出（一例）



写真11 キューピー掲出（一例）

(4) レシピ発信

区ホームページのぱく増しレシピの充実

クックパッド足立区公式キッチン「東京あだち食堂」にレシピ参入



(5) 区内関連施設・関連団体との連携

ア 地域学習センター(12施設)

ミニコミ紙にぱく増し記事掲載、ぱく増し料理講座（一部）

イ 図書館(15施設)

ミニコミ紙「かけはし」にてぱく増し特集を発行予定
ぱく増し関連書籍のコーナー設置（舎人図書館等）



写真12
舎人図書館
ぱく増しコーナー

ウ 住区センター

(ア) 応募用紙配架

(イ) 食べてフレイル予防栄養講座（10会場：青井、東伊興、梅島、千住柳町、鹿浜いきいき館、鹿浜、綾瀬、南花畑、千住あずま、西伊興）にて栄養士がキャンペーン周知

エ 応募用紙配架施設

区民事務所（16施設）、鹿浜いきいき館、悠々会館、総合スポーツセンター、駅スタンド等

オ 応募用紙配付団体

民生委員、健康づくり推進員、友愛クラブ役員、配食サービス事業者（14店 配付数2,200部）

令和 6 年 3 月 1 5 日

件 名	令和 6 年度足立区地域包括ケアシステム推進会議の部会再編案について
所 管 部 課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課
内 容	<p>令和 6 年 6 月に予定している足立区地域包括ケアシステム推進会議（以下、推進会議という）の委員改選に伴う部会再編案について報告する。</p> <p>1 部会再編方針（別紙 1） 推進会議では、引き続き地域包括ケアシステムの構成要素（住まい・医療・介護・予防・生活支援）を議論の軸に置きつつも、他の会議体で類似したテーマで検討が進められている場合には、同テーマでの部会は設けず、以下の 3 つのテーマに特化し、集中的に検討を進めていく。</p> <p>(1) 地域包括支援センター運営協議部会（変更なし） 地域包括支援センターの運営に関する協議・検討・評価等</p> <p>(2) 認知症施策推進部会 「共生社会の実現」を目指した認知症施策の協議・検討・評価等</p> <p>(3) はつらつ高齢者部会 高齢者のフレイル予防や社会参加促進のための各種施策に関する協議・検討・評価等</p> <p>2 再編時期 令和 6 年 6 月 1 日～当面の間</p> <p>3 委員構成案 別紙 2 のとおり</p> <p>4 今後の予定</p> <p>(1) 推進会議にて部会再編方針の報告（令和 6 年 3 月 1 5 日） (2) 各選出団体への委員推薦依頼（令和 6 年 4 月～ 5 月）</p>

再編方針

足立区地域包括ケアシステム推進会議では、引き続き地域包括ケアシステムの構成要素(住まい・医療・介護・予防・生活支援)を議論の軸に置きつつも、他の会議体で類似したテーマで検討が進められている場合には、同テーマでの部会は設けず、以下の3つのテーマに特化し、集中的に検討を進めていく。

【旧】部会編成

地域包括支援センター運営協議部会

認知症ケア推進部会

介護予防・日常生活支援総合事業推進部会

医療・介護連携推進部会

高齢者の住まいの事業推進部会

【新】部会編成(案) 令和6年6月～

(変更なし)

地域包括支援センター運営協議部会

地域包括支援センターの運営に関する協議・検討・評価等

認知症施策推進部会

「共生社会の実現」を目指した認知症施策に関する協議・検討・評価等

はつらつ高齢者部会

高齢者のフレイル予防や社会参加促進のための各種施策に関する協議・検討・評価等

他会議体

検討された内容は
推進会議にフィードバック

総合事業サービス検討会

総合事業における住民主体サービスや短期集中サービス、法改正における制度見直しに関する協議・検討
(事務局:高齢者地域包括ケア推進課・介護保険課)

研修カリキュラム検討委員会

医療と介護の相互理解・連携促進のための研修の企画や評価、在宅療養支援の在り方等を検討 (事務局:医療介護連携課)

足立区居住支援協議会

高齢者を始めとする住宅確保要配慮者の居住支援施策に関する協議・検討 (事務局:住宅課・高齢者地域包括ケア推進課)

令和6年度足立区地域包括ケアシステム推進会議委員構成(案)

別紙2

運協……………地域包括支援センター運営協議部会
 認知症……………認知症施策推進部会
 はつらつ……………はつらつ高齢者部会

※ 委員構成は現時点での案のため、今後変更の可能性がございます。

No.	役職	氏名	選出団体(役職等)	所属		
				運協	認知症	はつらつ
1	会長	酒井 雅男	学識経験者			長
2	副会長	白川 泰之	学識経験者		副	
3	副会長	山中 崇	学識経験者			副
4	副会長	永田 久美子	学識経験者		副	
5	副会長	粟田 圭一	学識経験者		長	
6	副会長	大口 達也	学識経験者	長		
7	委員	●● ●●	足立区医師会	副		
8	委員	●● ●●	足立区医師会		○	
9	委員	●● ●●	足立区医師会			○
10	委員	●● ●●	足立区歯科医師会	○		
11	委員	●● ●●	足立区歯科医師会			○
12	委員	●● ●●	足立区薬剤師会	○		
13	委員	●● ●●	東京都柔道整復師会足立支部	○		
14	委員	●● ●●	足立区介護サービス事業者連絡協議会 会長(居宅介護支援部会)	○		
15	委員	●● ●●	足立区介護サービス事業者連絡協議会 副会長(訪問介護部会)		○	
16	委員	●● ●●	足立区介護サービス事業者連絡協議会 副会長(訪問看護部会)		○	
17	委員	●● ●●	足立区介護サービス事業者連絡協議会 副会長(通所部会)			○
18	委員	●● ●●	足立区高齢者福祉施設連絡協議会		○	
19	委員	●● ●●	介護老人保健施設		○	
20	委員	●● ●●	栄養士会足立支部			○
21	委員	●● ●●	あだちPOSネットワーク			○
22	委員	●● ●●	認知症疾患医療センター		○	
23	委員	●● ●●	足立区ボランティア連合会		○	
24	委員	●● ●●	足立区シルバー人材センター			○
25	委員	●● ●●	足立区友愛クラブ連合会	○		
26	委員	●● ●●	足立区民生・児童委員協議会	○		
27	委員	●● ●●	足立区町会・自治会連合会	○		
28	委員	●● ●●	足立区社会福祉協議会(地域福祉部長)	○		
29	委員	●● ●●	足立区社会福祉協議会基幹地域包括支援センター(地域福祉課長)			○
30	委員	●● ●●	区職員(地域のちから推進部長)			
31	委員	●● ●●	区職員(福祉部長)			
32	委員	●● ●●	区職員(高齢施策推進室長)			
33	委員	●● ●●	区職員(衛生部長)			
34	委員	●● ●●	区職員(建築室長)			
35	委員	●● ●●	区職員(介護保険課長)			
36	委員	●● ●●	区職員(医療介護連携推進課長)			
				10	10	9

令和6年3月15日

件名	あだちお部屋さがしサポート事業の実績および進捗について
所管部課	都市建設部 建築室 住宅課
内容	<p>標記の件について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 あだちお部屋さがしサポート事業について 令和3年度から不動産協会および家賃債務保証会社等と連携し、住宅確保要配慮者（高齢、障がい、ひとり親、低所得などの理由で住宅の確保に配慮が必要な方）に対して「お部屋紹介」や「伴走支援」など、相談者に寄り添った支援事業を開始した。</p> <p>2 実績および進捗について 別添のとおり（令和6年3月6日開催「足立区居住支援協議会※」報告資料）。</p> <p>※ 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律（平成19年法律第112号）第51条の規定に基づき、令和2年12月に足立区居住支援協議会を設立。</p>

令和5年度（1月31日現在）【相談・お部屋紹介の件数】

相談件数286件

① 個別寄り添い紹介に繋がらなかった261件の対応は下記表①を参照

② お部屋紹介件数27件

（令和4年度相談から2件、令和5年度相談から25件）

③ 成約件数11件（令和4年度内紹介の1件を含むと計12件）

④ 未成約16件のうち10件は自己解決等による中止およびキャンセル。
6件は部屋さがしを継続中

令和4年度
お部屋紹介して
令和5年度成約

翌年成約
1件

令和5年度
お部屋紹介+成約
27件

成約
11件

+

未成約
16件

令和5年度
合計成約
12件

翌年成約
1件

+

成約
11件

成約率44.4%

【① 窓口相談のみで終了した261件の対応について】

案内・対応した内容	件数	
福祉担当部署やくらしとしごとの相談センター等を案内した	66件	① 生活保護受給者のためケースワーカーへつなぐ ② 福祉等担当部署へ相談するよう案内 ③ 給付金やその他の制度の情報提供
上記以外のアドバイスや案内をした	107件	① 相談を受けアドバイス等により自己解決 ② 公営住宅の相談および案内や応募 ③ 居住支援法人で対応してもらった
キャンセル	8件	① 一度相談に来庁したが連絡が取れず
条件が定まっていない方の対応	80件	① 家族、親族等と十分な話し合いを促し、再考することを提案 ② 希望や条件が曖昧（家賃など具体的希望） ③ 電話対応し来庁を促したがその後連絡なし
合計	261件	

【② お部屋紹介件数の内訳】

・紹介件数 27件

（年代内訳）

64歳以下・・・ 1件
65～69歳・・・ 3件
70代・・・ 14件
80歳以上・・・ 9件

26件が高齢者
内、21件が単身

【③ 成約件数の内訳】

・成約件数 12件（令和4年度紹介1件含）

（年代内訳）

（成約率）

64歳以下・・・ 1件（100%）
65～69歳・・・ 1件（33%）
70歳代・・・ 7件（50%）
80歳以上・・・ 3件（33%）

内、9件が単身高齢者

【④ 未成約16件の内訳】

親族・知人等からの物件紹介の為キャンセル 4件
立ち退きの延期および中止 3件
自己都合によるキャンセル 2件

都営住宅当選 1件

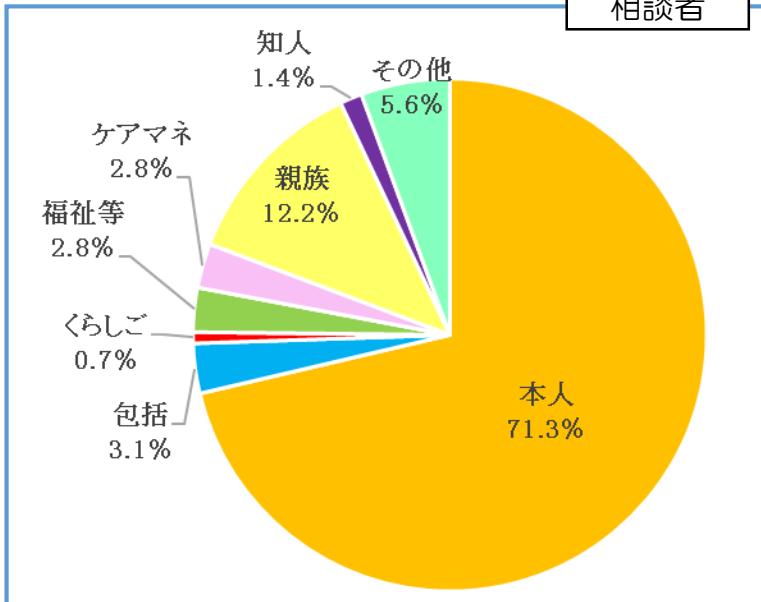
部屋さがし継続中 6件

令和5年度
お部屋
紹介
R6.1末時点

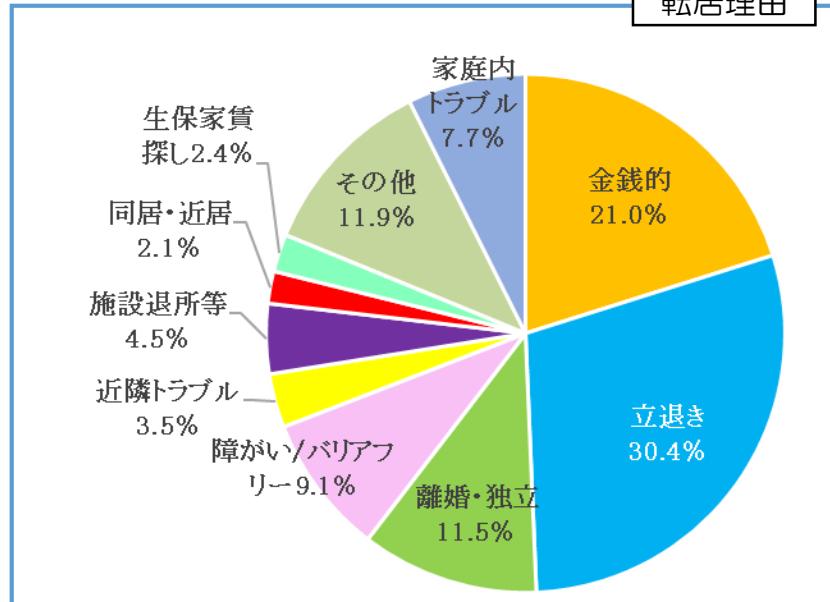
あだちお部屋さがしサポート事業の実績および進捗

【相談件数（261件）の内訳】

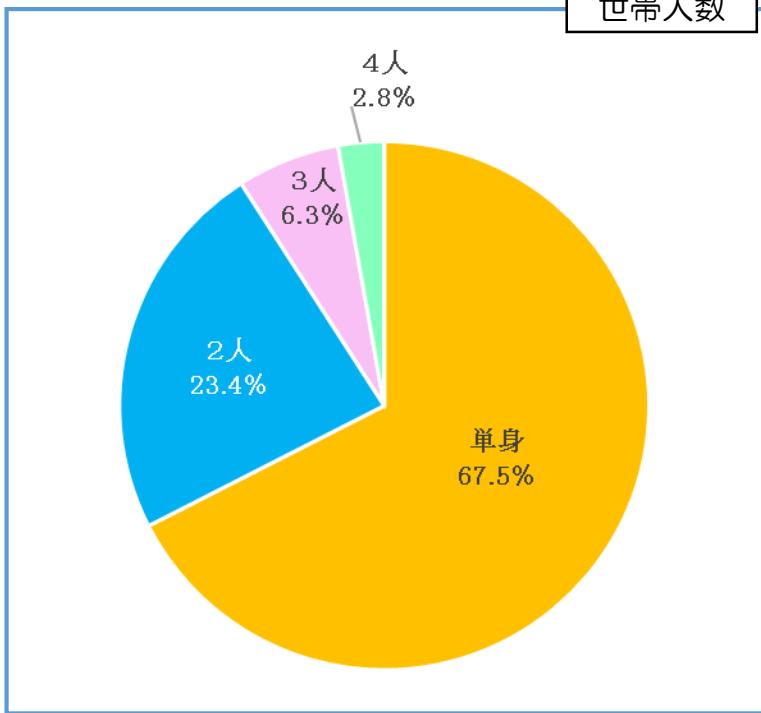
相談者



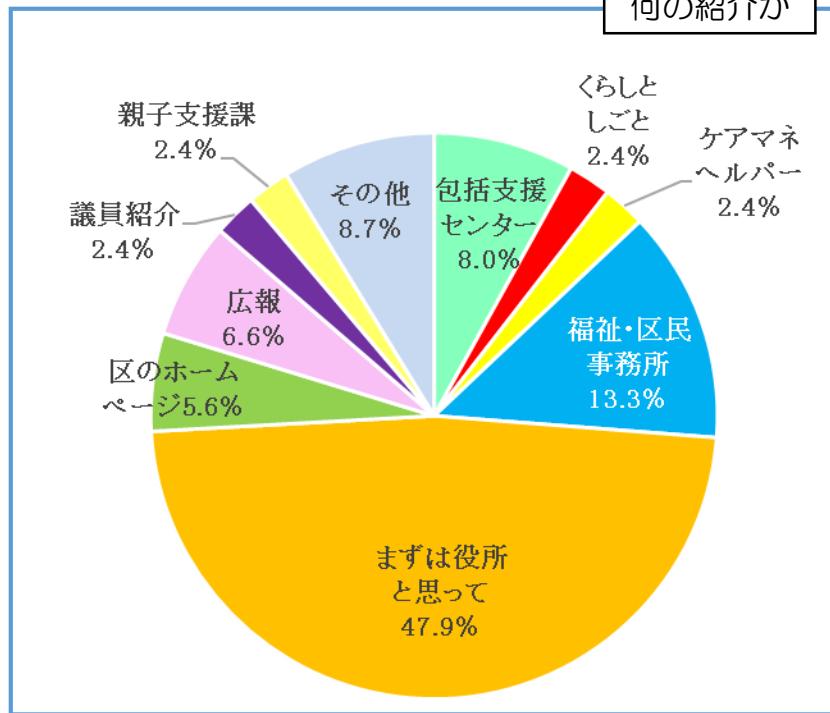
転居理由



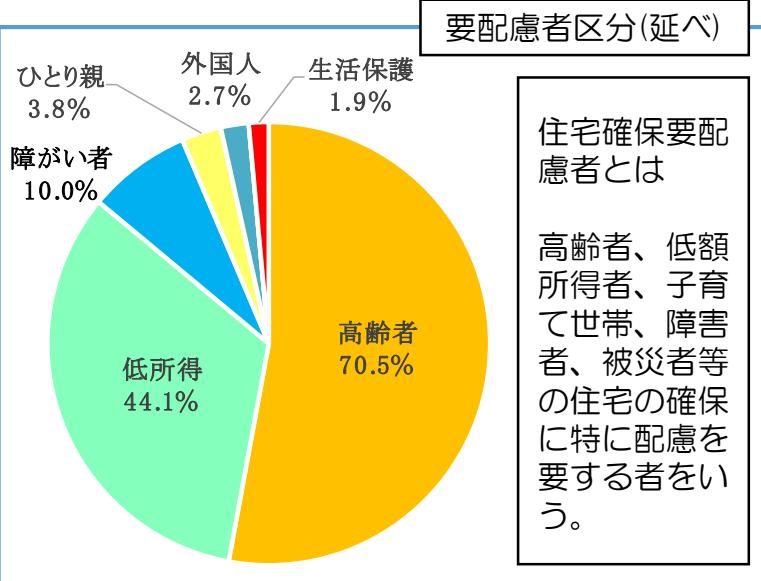
世帯人数



何の紹介か



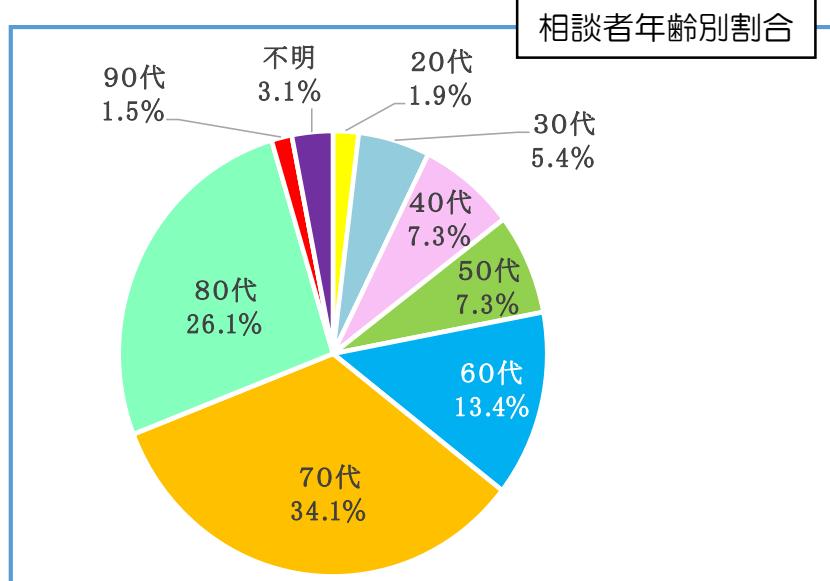
要配慮者区分(延べ)



住宅確保要配慮者とは

高齢者、低額所得者、子育て世帯、障害者、被災者等の住宅の確保に特に配慮を要する者をいう。

相談者年齢別割合



【入居促進に向けた費用助成件数（対象：単身高齢者）】

家賃債務保証費用助成	少額短期保険費用助成	見守りサービス加入
6件	8件	10件

令和5年度
お部屋
紹介
R6.1末時点

件 名	長寿健康増進事業の終了について												
所 管 部 課	区民部 高齢医療・年金課												
内 容	<p>長寿健康増進事業（東京都後期高齢者医療広域連合からの補助事業）は、後期高齢者がいつまでも地域で元気に過ごしていただくことを目的に健康体操や趣味に関わる講座を実施してきた。他部署における同様の目的をもった事業が拡充していることや費用対効果を含め検討した結果、令和 5 年度で当該事業を終了する。</p> <p>1 高齢者を対象とした事業の現状</p> <p>(1) 介護予防を目的とした事業に関しては、他部署において類似事業が実施されており、本事業の大半が重複している。</p> <p>(2) 他部署において、同様の目的をもった講座が拡充されてきたことやコロナ禍における集団での感染の不安感等が影響し、参加率が低下しており、令和 4 年度は 1 7 講座（定員 2 9 5 人）実施したが、参加率は、3 7. 3 %と低調であった。</p> <div data-bbox="504 1055 1385 1621" style="text-align: center;"> <p>長寿健康増進事業参加率の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 2 8 年度</td> <td>92.3%</td> </tr> <tr> <td>平成 2 9 年度</td> <td>81.0%</td> </tr> <tr> <td>平成 3 0 年度</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>令和 元 年度</td> <td>80.7%</td> </tr> <tr> <td>令和 4 年度</td> <td>37.3%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>※ 令和 2、3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>(3) 2 3 区で長寿健康増進事業を実施しているのは足立区のみである。</p>	年度	参加率	平成 2 8 年度	92.3%	平成 2 9 年度	81.0%	平成 3 0 年度	90.0%	令和 元 年度	80.7%	令和 4 年度	37.3%
年度	参加率												
平成 2 8 年度	92.3%												
平成 2 9 年度	81.0%												
平成 3 0 年度	90.0%												
令和 元 年度	80.7%												
令和 4 年度	37.3%												

(4) 長寿健康増進事業実施状況等

項目 年度	当初予算	決算額		執行率	講座数	参加 人数
		特定財源※ (割合)	一般財源 (割合)			
平成 28年度	3,000,000円	2,526,052円		84.20%	39	634人
		2,411,064円 (95.45%)	114,988円 (4.55%)			
平成 29年度	3,000,000円	2,496,910円		83.23%	41	623人
		444,268円 (17.79%)	2,052,642円 (82.21%)			
平成 30年度	3,000,000円	2,549,533円		84.98%	42	681人
		469,651円 (18.42%)	2,079,882円 (81.58%)			
令和 元年度	3,000,000円	2,886,401円		96.21%	43	698人
		542,660円 (18.80%)	2,343,741円 (81.20%)			
令和 4年度	3,000,000円	1,187,780円		39.59%	17	110人
		1,059,772円 (89.22%)	128,008円 (10.78%)			

※ 特定財源…東京都後期高齢者医療広域連合からの補助金

2 今後の方向性（別紙1）

- (1) 後期高齢者医療被保険者に限られ、単発的な実施になりがちであった当該事業を、より若い世代を対象とした、継続的かつ効果測定が可能な、他部署の介護予防事業に移行する。
- (2) 後期高齢者と介護予防事業を実施する部署との橋渡し役を担っていく。

3 具体的な今後の当課の役割

当課では、被保険者への「保険料決定通知」や「あだち長寿医療だより」等を送付するツールを持っているため、介護予防事業のチラシの同封や「あだち長寿医療だより」への事業情報掲載等を行うなど、フレイル予防の周知・啓発に努めていく。

4 今後のスケジュール

令和6年3月14日 地域（生涯）学習センター長会議にて終了報告

令和6年3月 ホームページや「あだち長寿医療だより」において事業終了及び他部署で実施している介護予防事業等の周知

長寿健康増進事業の今後の方向性について

No	講座内容	長寿健康増進事業の講座（実施例）	令和4年度実績 （中止講座含む）			令和6年度以降	対象講座		
			回数	参加者	参加率				
1	健康・体操系	シニアのためのやさしい健康体操と脳トレ(2日制)	3回	28人	56.0%	スポーツ振興課	パークで筋トレ ウォーキング教室		
2		いつまでも元気に簡単ストレッチ&トレーニング	3回	11人	18.3%				
3		椅子に座ったまま出来る バレエストレッチ	2回	1人	2.5%				
4		家でもできる 健康簡単ストレッチヨガ(2日制)	3回	9人	22.5%			地域包括ケア推進課	はつらつ教室 みんなで元気アップ教室
5		青竹エクササイズ&簡単フィットネスダンス	1回	3人	15.0%				
6		はじめてでも出来る すっきりピラティス	1回	3人	15.0%				
7		無理せずしっかり動かせる すっきりヨガ	1回	2人	10.0%			データヘルス推進課	あだち☆ちゅうりっぷ体操教室
8	スマホ活用系	ゼロからはじめるスマートフォン基礎講座	1回	15人	75.0%	地域包括ケア推進課 生涯学習支援課	スマートフォン講座		
9	趣味系	健康増進 入門太極拳	1回	0人	0.0%	生涯学習支援課 住区推進課	趣味教養講座		

健康・体操系講座事業規模比較

約470倍 約11倍

	対象	参加人数	実施回数	実施時期	継続性
長寿健康増進事業	後期高齢者医療被保険者 <u>(75歳以上)</u>	57人	14回	下半期において単発実施	継続性が担保されず、世代間交流も困難
パークで筋トレ	おおむね <u>65歳以上</u>	26,574人	796回	通年実施 (36会場において月2回or毎週)	継続性が担保され、世代間交流も可能
はつらつ教室	<u>65歳以上</u> (要介護・要支援認定なし)	623人	310回	通年実施 (各会場において月2回程度)	

長寿健康増進事業と他部署の事業の比較検討結果

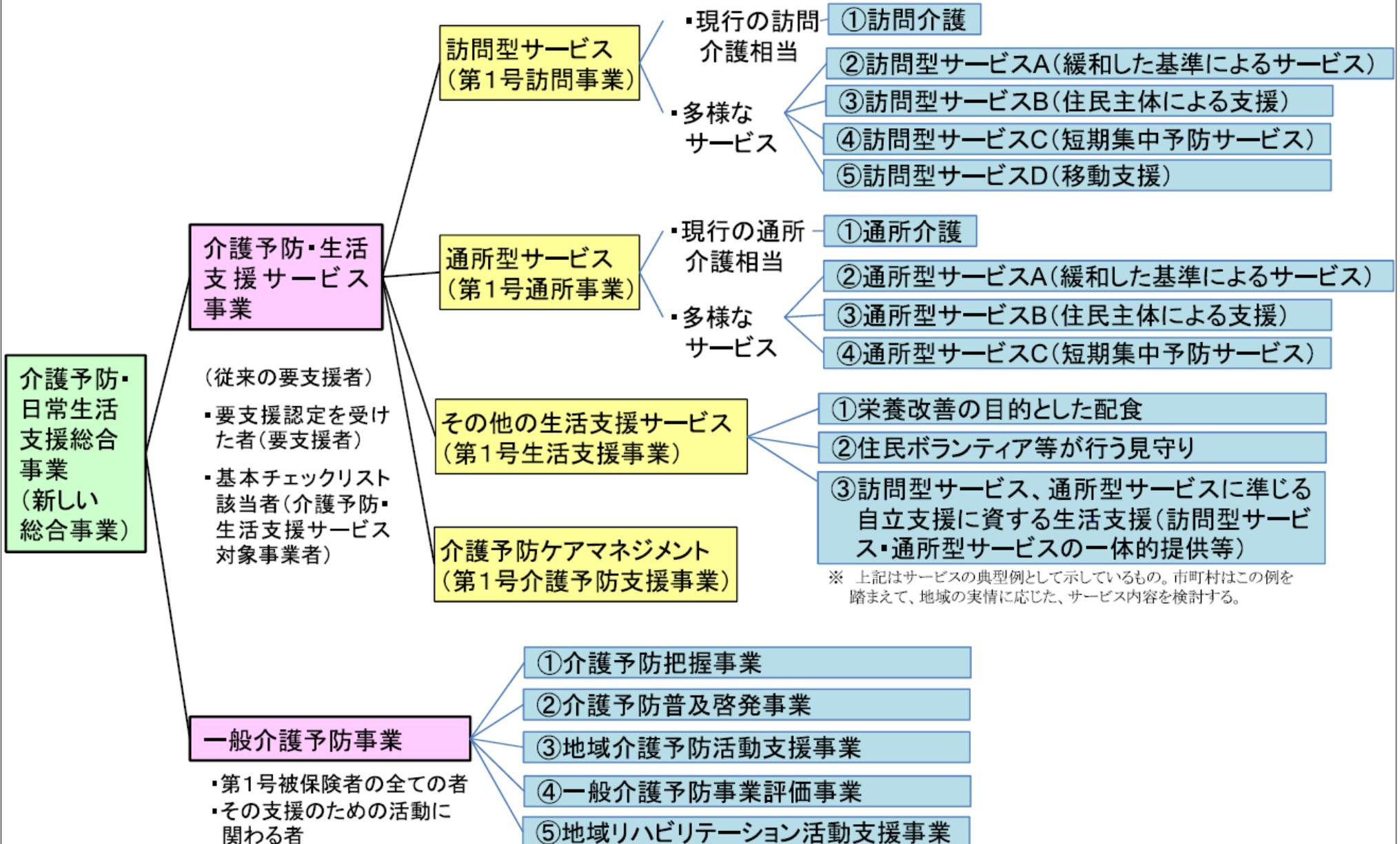
- 1 フレイル予防の観点から、60代という早い段階から区が事業を通して関わることで「早期発見・早期対応」が可能となる。
- 2 継続性が担保され、被保険者に限らない世代間交流が広がりやすくなる。
- 3 事業の通年化によって、効果測定が可能となり、その人にあった介護予防への取り組みを実行することができる。

●今後の方向性

長寿健康増進事業を他部署で実施している類似の介護予防事業に移行し、当課は後期高齢者と介護予防事業を実施する部署との橋渡し役を担っていく。

件名	総合事業サービス検討会の発足について
所管部課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課
内容	<p>標記の件について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 国が示す総合事業サービスの概要 全国一律の予防給付（要支援1・2を対象とする訪問介護・通所介護）を市町村が取り組む地域支援事業に移行され、既存の事業者によるサービスに加え、NPO、民間企業、住民ボランティア等による多様なサービスの提供が可能となることを目的としている（平成27年度改正）。</p> <p>2 足立区の現状 (1) 足立区では、平成28年10月から、専門の事業者が行う訪問型・通所型のサービスA、また、配食などのその他の生活支援サービスを実施している。 (2) サービスが利用できる事業対象者は、要支援1・2の認定者、基本チェックリストで生活機能の低下があると判定された方としている。 (3) 平成30年以降、介護認定者数及び受給者数は増加を続けており、専門の事業者が行うサービスだけでは、提供が困難な状況が予想される。 ※ 令和5年の要介護（要支援）認定者数は37,687人、そのうち介護サービス受給者数は30,996人。 (4) 足立区が未実施のサービスB・C・Dのほか、現行のサービスAの業務の簡素化、負担軽減が必要になる。</p> <p>3 スケジュール・期間等 (1) 第1回 令和6年3月 (2) 第2回以降 2か月に1度を基本に、必要な場合は随時開催。</p> <p>4 会議メンバー 介護サービス事業者連絡協議会 基幹包括支援センター 地域包括ケア推進課 介護保険課 ※協議を進める中で、シルバー人材センターや友愛クラブ連合会等、関係団体の意見が必要な場合、出席を依頼していく。</p> <p>5 今後の方針 (1) 会議の検討事項は、地域包括ケアシステム推進会議に、随時、報告していく。 (2) 予算措置等が必要なサービスが想定されるため、令和7年度の実施が実現可能なサービスから、順次検討し、実施していく。</p>

介護予防・日常生活支援総合事業の構成



令和6年3月15日

件名	介護予防・日常生活支援総合事業報酬改定について
所管部課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課
内容	<p>標記の件について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 国からの算定構造イメージ（案）の通知について 令和6年2月21日付厚生労働省老健局事務連絡にて、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス費についての算定構造（案）が示された。</p> <p>2 足立区の報酬単価について 上記の算定構造（案）や近隣自治体の状況、事業者等の意見を元に、3月中旬を目途に作成していく。</p> <p>(1) 主な改定項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 基本報酬の改定（訪問型サービス費、通所型サービス費、介護予防ケアマネジメント費） イ 高齢者虐待防止措置未実施減算の新規追加 ウ 業務継続計画未策定減算の新規追加（訪問・通所で条件差あり） エ 訪問型における口腔管理に係る連携の強化 オ 介護職員処遇改善加算の一本化（令和6年度6月以降） カ 同一建物等居住者へのサービス提供に対する報酬見直し キ 運動器機能向上加算の基本報酬への包括化 <p>3 今後の方針</p> <p>(1) 改定後の報酬単価が出来上がり次第、区指定の全介護事業者に対して、メールにて速やかに周知する。</p> <p>(2) 介護保険課主催の事業者向け説明会（令和6年3月25日開催）にて、改定内容の詳細を説明する。</p>

令和6年3月15日

件名	令和5年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施「食べてフレイル予防」事業の取り組みについて												
所管部課	区民部 高齢医療・年金課 区民部 国民健康保険課 衛生部 データヘルス推進課 福祉部 高齢施策推進室 地域包括ケア推進課												
内容	<p>令和4年度より「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業として高齢者のフレイル予防「食べてフレイル予防」事業を開始している。この間の事業の進捗状況を報告する。</p> <p>1 集団支援</p> <p>(1) 目的 たんぱく質等の栄養をしっかりとって、筋力維持・低栄養予防</p> <p>(2) 内容 栄養講座（年2回実施／会場、調理実演有）及び自主的かつ定期的な測定会（体重・骨格筋量・握力） 令和5年度は理学療法士による測定説明会（試行）を6回実施</p> <p>(3) 対象 通いの場に行くことが可能な高齢者</p> <p>(4) 会場（別紙） 【令和4年度から実施】 12会場 住区センター（入谷、東伊興、西伊興、栗原北、島根、花保、梅島、東和、中央本町、綾瀬、千住柳町）及び鹿浜いきいき館 【令和5年度から実施】 12会場 住区センター（舎人、鹿浜、南花畑、平野、保塚、西新井栄町、江北コミュニティ、本木関原、青井、弘道、千住本町、千住あずま） 【令和6年度から実施予定】 12会場 住区センター（桜花、扇、大谷田谷中、押皿谷、加賀、五反野コミュニティ、佐野、神明、長門、西新井本町、花畑、六木）</p> <p>(5) 令和5年度実績</p> <table border="0"> <tr> <td>栄養講座</td> <td>23会場</td> <td>46回</td> <td>1,303名参加（延べ人数）</td> </tr> <tr> <td>測定会</td> <td>22会場</td> <td></td> <td>607名参加（実人数）</td> </tr> <tr> <td>測定説明会</td> <td>6会場</td> <td>6回</td> <td>132名参加（実人数）</td> </tr> </table>	栄養講座	23会場	46回	1,303名参加（延べ人数）	測定会	22会場		607名参加（実人数）	測定説明会	6会場	6回	132名参加（実人数）
栄養講座	23会場	46回	1,303名参加（延べ人数）										
測定会	22会場		607名参加（実人数）										
測定説明会	6会場	6回	132名参加（実人数）										

(6) 実施状況



写真1 講座の様子



写真2 さばとろ丼
さば缶、冷凍とろろ使用



写真3 焼売スープ
冷凍焼売、フリーズドライ卵スープ使用



写真4 実演の様子



写真5 実演料理を参加者間で共有



写真6 測定の様子 (体組成計)



写真7 測定の様子 (握力)

2 個別支援 (訪問)

(1) 目的

低栄養防止による要介護への進行予防

(2) 内容

管理栄養士による個別の栄養相談支援

6か月間で、初回訪問・2回目電話・3回目訪問を実施

初回と3回目は、体重測定・食事内容等を調査

(3) 対象

後期高齢者医療健診の結果、BMIが18.5未満、かつ6か月間に2～3kgの体重減少があると回答した方

ア 年齢75～79歳を対象とする。

イ 要支援・要介護認定者、精神疾患等の疾病のある方は除く。

(4) 令和5年度実績

ア 上記(3)の抽出条件による対象者は87名

プログラム修了者は34名(令和6年2月29日時点)

イ 低栄養リスク高齢者の中で個別支援を実施しない約300名の方に対してフレイル予防の啓発、集団支援の取り組みを案内する。

3 令和5年度のスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①個別支援 対象者抽出 訪問 効果分析等		抽出		個別訪問① 2回訪問					個別訪問② 2回訪問			効果分析
②集団支援 会場との調整 測定 栄養講座 測定説明会 効果分析等	調整		定期的な測定(継続会場)	定期的な測定(継続会場)	前期 栄養講座			後期 栄養講座	測定説明会			効果分析

令和5年3～4月 会場(住区センター等)との日程・購入品等調整

4～5月 物品購入 管理栄養士事業調整

個別支援対象者抽出

6月～ 事業実施

10月～ 測定説明会実施

令和6年1月～ 効果分析開始

4 今後に向けて

令和6年度は、集団支援の会場としてさらに12会場(住区センター)の希望があり拡大していく。また、引き続き試行的に理学療法士に関わっていただき、測定説明会の実施を予定している。

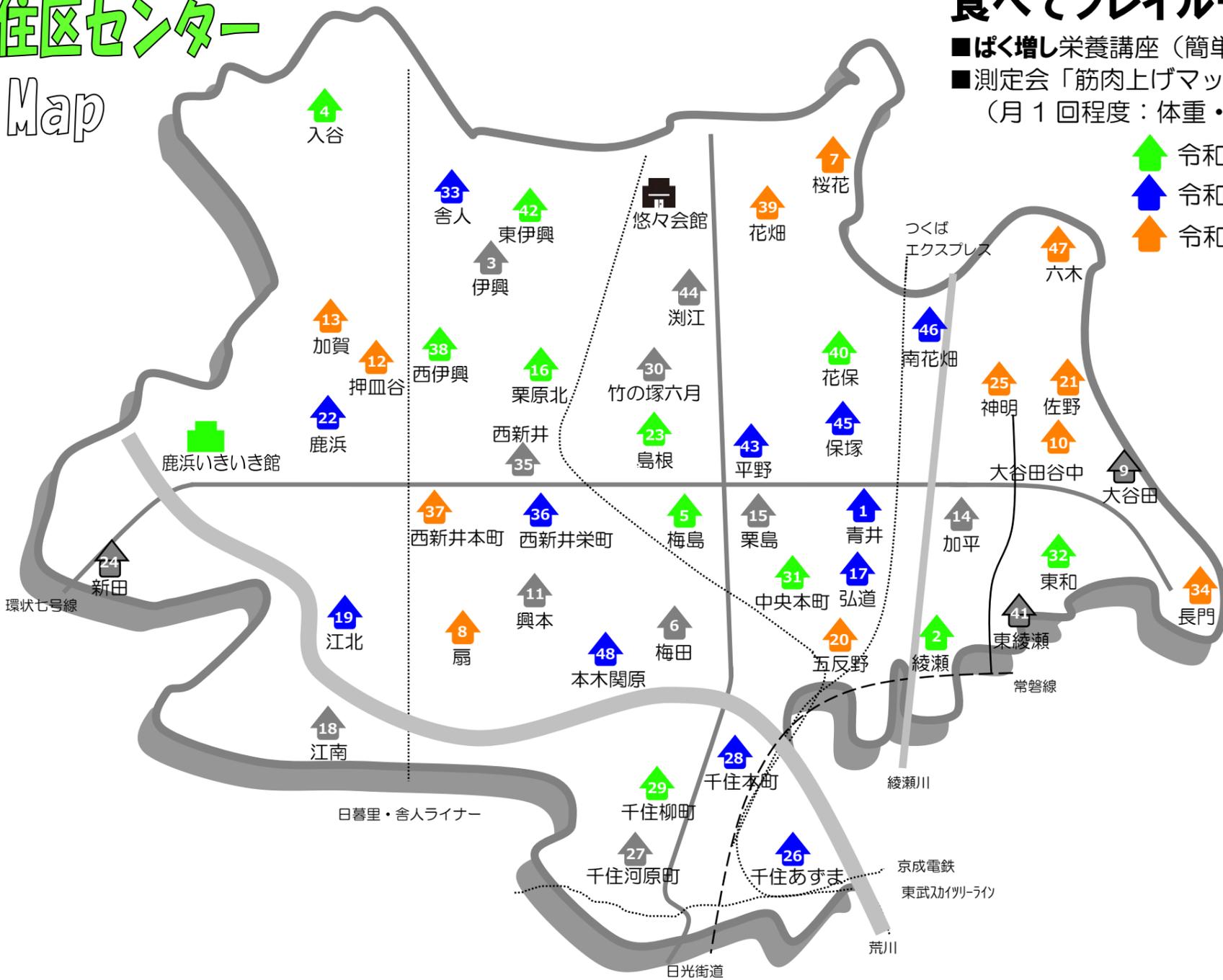
住区センター

Map

食べてフレイル予防事業

- ばく増し栄養講座（簡単な実演あり）
- 測定会「筋肉上げマッスル測定会」（月1回程度：体重・筋肉量等）

- ▲ 令和4年度実施会場
- ▲ 令和5年度実施会場
- ▲ 令和6年度実施会場



住区センターの一覧 食べてフレイル予防【栄養講座と測定】実施会場に●印をつけています。

施設番号	施設名称	施設所在地	施設電話番号	施設番号	施設名称	施設所在地	施設電話番号
1	● 青井住区	青井 5-11-40-101	3852-3750	26	● 千住あずま住区	千住東 2-21-18	3882-1218
2	● 綾瀬住区	綾瀬 3-17-9	3628-9908	27	千住河原町住区	千住河原町 6-4	3870-7228
3	伊興住区	伊興 5-22-13	3855-2707	28	● 千住本町住区	千住 5-6-2	3870-6221
4	● 入谷住区	舎人 6-12-4-101	3855-1050	29	● 千住柳町住区	千住柳町 12-5	3870-3490
5	● 梅島住区	梅島 2-14-5	3849-6374	30	竹の塚六月住区	六月 2-26-3-101	3850-3494
6	梅田住区	梅田 6-26-1	3848-3421	31	● 中央本町住区	中央本町 3-15-1	3852-1434
7	● 桜花住区	花畑 6-4-16	3850-7190	32	● 東和住区	東和 3-12-9	3628-6206
8	● 扇住区	扇 1-47-38	3896-0688	33	● 舎人住区	舎人 1-3-26	3857-0881
9	大谷田住区	大谷田 1-1-2-101	3629-5460	34	● 長門住区	中川 2-24-2-101	3629-8231
10	● 大谷田谷中住区	大谷田 4-16-6	5697-3390	35	西新井住区	西新井 1-4-17	3854-1527
11	興本住区	本木東町 17-10	3889-0388	36	● 西新井栄町住区	西新井栄町 3-1-6-101	3880-7705
12	● 押皿谷住区	鹿浜 8-27-15	3857-4231	37	● 西新井本町住区	西新井本町 2-30-37	3890-5555
13	● 加賀住区	加賀 2-31-6-101	3857-4639	38	● 西伊興住区	西伊興 1-12-12	3896-7362
14	加平住区	加平 1-10-6	3605-8842	39	● 花畑住区	花畑 4-16-8	3850-2602
15	栗島住区	中央本町 4-5-2	3848-3471	40	● 花保住区	東保木間 1-25-4-101	3884-1229
16	● 栗原北住区	栗原 4-19-15	3899-8761	41	東綾瀬住区	東綾瀬 1-28-7	5697-3370
17	● 弘道住区	弘道 2-16-1-101	3840-9354	42	● 東伊興住区	東伊興 1-5-22	3899-8531
18	江南住区	小台 2-4-18	3914-3427	43	● 平野住区	平野 2-2-14	3884-7765
19	● 江北コミュニティセンター	江北 2-8-2	3890-6224	44	● 淵江住区	西保木間 1-2-1-101	3850-3467
20	● 五反野コミュニティセンター	西綾瀬 2-1-13	3886-2643	45	● 保塚住区	保塚町 7-16	3858-1876
21	● 佐野住区	佐野 2-43-5	3628-3277	46	● 南花畑住区	南花畑 3-14-7	3859-9868
22	● 鹿浜住区	鹿浜 6-8-1	3857-6550	47	● 六木住区	六木 3-39-5-101	3629-1716
23	● 島根住区	島根 4-19-1-101	3850-9966	48	● 本木関原住区	関原 1-21-11	3849-9735
24	新田住区	新田 2-2-2	3912-3421		悠々会館	西保木間 4-9-1	3859-9732
25	● 神明住区	神明南 2-6-19	5682-5089		● 鹿浜いきいき館	鹿浜 2-24-2	3853-5071

※改修工事期間中は事業の実施無し

件 名	令和 5 年度医療・介護連携研修の実施結果について																				
所 管 部 課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課																				
内 容	<p>標記の件について、以下のとおり報告する。</p>																				
	<p>1 目的 医療機関と介護事業所等の関係者が連携するための研修会を開催し、在宅医療と介護の一体的な提供を促進する。</p>																				
	<p>2 参加団体（9 職種）</p> <table border="1" data-bbox="446 739 1420 1317"> <thead> <tr> <th colspan="2">団 体 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>足立区医師会</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>足立区歯科医師会</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>足立区薬剤師会</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>足立区介護サービス事業者連絡協議会</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>東京都柔道整復師会足立支部</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>あだち POS ネットワーク ※ POS・・・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>東京都栄養士会足立支部</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>足立区多機能サービス連絡会</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>地域包括支援センター</td> </tr> </tbody> </table>	団 体 名		1	足立区医師会	2	足立区歯科医師会	3	足立区薬剤師会	4	足立区介護サービス事業者連絡協議会	5	東京都柔道整復師会足立支部	6	あだち POS ネットワーク ※ POS・・・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	7	東京都栄養士会足立支部	8	足立区多機能サービス連絡会	9	地域包括支援センター
	団 体 名																				
	1	足立区医師会																			
2	足立区歯科医師会																				
3	足立区薬剤師会																				
4	足立区介護サービス事業者連絡協議会																				
5	東京都柔道整復師会足立支部																				
6	あだち POS ネットワーク ※ POS・・・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士																				
7	東京都栄養士会足立支部																				
8	足立区多機能サービス連絡会																				
9	地域包括支援センター																				
<p>3 令和 5 年度実施結果について (1) 医療・介護スキルアップ研修 ア 目的 医療・介護現場での実践力向上を図り、多職種間の連携を推進する。 イ 開催結果</p> <table border="1" data-bbox="502 1635 1412 2049"> <tbody> <tr> <td>開催日時</td> <td>令和 5 年 1 0 月 1 8 日（水） 1 9 時～ 2 1 時</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>エルソフィア 大ホール</td> </tr> <tr> <td>研修テーマ・講師</td> <td>① 「地域リハビリテーションにおける専門職の役割と連携における考え方」 いずみ記念病院 リハビリテーション 統括部長 高田 耕太郎 氏 ② リハビリテーション専門職の紹介</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>1 4 4 名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日時	令和 5 年 1 0 月 1 8 日（水） 1 9 時～ 2 1 時	開催場所	エルソフィア 大ホール	研修テーマ・講師	① 「地域リハビリテーションにおける専門職の役割と連携における考え方」 いずみ記念病院 リハビリテーション 統括部長 高田 耕太郎 氏 ② リハビリテーション専門職の紹介	参加者	1 4 4 名													
開催日時	令和 5 年 1 0 月 1 8 日（水） 1 9 時～ 2 1 時																				
開催場所	エルソフィア 大ホール																				
研修テーマ・講師	① 「地域リハビリテーションにおける専門職の役割と連携における考え方」 いずみ記念病院 リハビリテーション 統括部長 高田 耕太郎 氏 ② リハビリテーション専門職の紹介																				
参加者	1 4 4 名																				

【スキルアップ研修会】



(2) 多職種連携研修会

ア 目的

在宅医療・介護に関わる多職種が参加し、顔が見え相談できる関係作りを進めることで、ブロック内で課題解決する連携体制を構築する。

イ 開催回数

区内5ブロック 各1回

ウ 開催結果

別紙のとおり

【多職種連携研修会】



(3) 多職種連携全体交流会

開催日時	令和6年2月21日(水) 19時～21時
開催場所	こども支援センターげんき
内容	① 令和5年度多職種連携研修各ブロック開催結果の情報共有 ② 令和6年度多職種連携研修各ブロック開催内容の検討
参加者	43名

令和5年度 足立区多職種連携研修会実施結果

【別紙】

	日時	場所	参加機関・人数	研修テーマ 研修形態	グループディスカッションの内容	アンケート結果 MCSグループ登録数
第1回 (千住ブロック)	令和5年 5月19日(金) 19時～21時	生涯学習センター講堂	医師会(5名) 歯科医師会(2名) 薬剤師会(11名) ホウカツ(11名) 栄養士会(1名) 介護事業者連絡協議会(17名) POS(5名) 柔道整復師会(2名) 多機能サービス連絡会(1名) 福祉事務所(5名) 合計 60名	「認知症」ミニ講座と事例を元に グループディスカッション ブロック内の主マネ等のファシリテーターが中心となり進める	【グループディスカッション・発表】 ① 自己紹介、名刺交換 ② 事例からAさんにどんなことが起きているのか考える ③ 事例についてどのような対応をしたら良いか	【感想・自由意見】 ・認知症ケアの多職種連携の重要性を強く感じた。 ・様々な職種の意見を聞けて勉強になった。 【エリア勉強会・イベント】 ・常東地域拡大あんしんネットワーク会議 ・地域ケアネットワーク ・ランチミーティング 【MCSグループ登録者数】 33名
第2回 (中部ブロック)	令和5年 7月14日(金) 19時～21時	ギャラクシティ 3階研修室	医師会(11名) 歯科医師会(0名) 薬剤師会(11名) ホウカツ(16名) 栄養士会(1名) 介護事業者連絡協議会(11名) POS(4名) 柔道整復師会(1名) 多機能サービス連絡会(1名) 福祉事務所(5名) 合計 61名	「震災」について災害対策課及び 福祉管理課による講義とグループワーク ブロック内の世話人等のファシリテーターが中心となり進める	【グループディスカッション・発表】 ① 自己紹介 ② 東日本大震災を振り返って ③ 震災に備えていること、震災時にできること	【感想・自由意見】 ・避難所の分類や発災後のフローなど知らないことばかりだったので勉強になった。 ・各利用者の避難場所の確認等これからしていこうと思った。 【エリア勉強会・イベント】 ・フレイルについてのランチミーティング ・意思決定支援に関する勉強会 【MCSグループ登録者数】 52名
第3回 (北部ブロック)	令和5年 7月21日(金) 19時～21時	ギャラクシティ 3階研修室	医師会(7名) 歯科医師会(1名) 薬剤師会(7名) ホウカツ(11名) 栄養士会(2名) 介護事業者連絡協議会(14名) POS(3名) 柔道整復師会(1名) 多機能サービス連絡会(1名) 福祉事務所(6名) 合計 53名	小規模多機能型居宅介護サービスの紹介とグループディスカッション ブロック内の主マネ等のファシリテーターが中心となり進める	【グループディスカッション・発表】 ① 自己紹介 ② 講義の感想 ③ 地域に足りないと思うサービス ④ ブロックですすでに取り組んでいる事	【感想・自由意見】 ・区民の方に小規模多機能サービス(看多機)をより詳しく説明できる内容だった。 ・連携を求めている人は一定数いるとわかり、研修会を企画するモチベーションが上がった。 【エリア勉強会・イベント】 ・地域ケアネットワーク 【MCSグループ登録者数】 29名
第4回 (東部ブロック)	令和5年 9月20日(水) 19時～21時	勤労福祉会館 2階ホール	医師会(5名) 歯科医師会(2名) 薬剤師会(7名) ホウカツ(8名) 栄養士会(1名) 介護事業者連絡協議会(27名) POS(2名) 柔道整復師会(2名) 多機能サービス連絡会(2名) 福祉事務所(6名) 合計 62名	地域包括支援センター紹介とグループディスカッション ブロック内の世話人等のファシリテーターが中心となり進める	【グループディスカッション・発表】 ① 自己紹介 ② 地域包括支援センターの役割と機能について ③ 事例検討(介入の糸口は)	【感想・自由意見】 ・ホウカツのお仕事が大変分かりやすく、納得・理解できた。 ・自分とは異なる職種の視点を知ることができた。 【エリア勉強会・イベント】 ・ケアマネネットワーク ・「かけはしの会」 ・ケアマネカフェ 【MCSグループ登録者数】 53名
第5回 (西部ブロック)	令和5年 9月29日(金) 19時～21時	こども支援センターげんき 5階研修室3	医師会(7名) 歯科医師会(1名) 薬剤師会(11名) ホウカツ(15名) 栄養士会(2名) 介護事業者連絡協議会(36名) POS(8名) 柔道整復師会(1名) 多機能サービス連絡会(0名) 福祉事務所(5名) 合計 86名	「連携について」講義と交流会(名刺交換)	【講義・交流会(名刺交換)】 ① 「連携について」の講義 ② 地域で顔見知りを増やすための交流会(フリップを使用して、会話に困らない名刺交換会の実施)	【感想・自由意見】 ・今後の連携がしやすいよう工夫された研修内容だった。 ・グループだけでなく、全体で名刺交換や質問をすることでより親しくなれたように感じられた。 【エリア勉強会・イベント】 ・地域ケアネットワーク ・成年後見制度の勉強会(ケアマネ向け) 【MCSグループ登録者数】 62名

令和5年度 5ブロック合計 322名参加 (参考 令和4年度263名参加)

令和 5 年度 第 2 回地域包括ケアシステム推進会議

令和 6 年 3 月 1 5 日

件 名	令和 5 年度地域ケア会議推進事業の実施報告について
所 管 部 課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課
内 容	<p>標記の件について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 令和 5 年度地域ケア会議実施状況（令和 6 年 3 月 1 5 日現在）</p> <p>（1）実施地域包括支援センター 2 5 か所</p> <p>（2）実施回数 3 8 回（令和 4 年度 3 6 回実施）</p> <p>2 令和 5 年度地域ケア会議実施内容及び集計結果</p> <p>別冊「令和 5 年度足立区地域包括支援センター地域ケア会議実施報告書」のとおり</p>

令和6年3月15日

件名	「すこやかプラザ あだち」の概要について
所管部課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課
内容	<p>令和7年1月に開設予定の「すこやかプラザ あだち」の概要について、報告する。</p> <p>※ 「(仮称)江北健康づくりセンター」の愛称を公募し、令和5年2月に投票のうえ「すこやかプラザ あだち」に決定した。</p> <p>1 「すこやかプラザ あだち」の概要について (別紙)</p> <p>(1) 施設の概要</p> <p>ア 住所 江北五丁目14番</p> <p>イ 敷地面積 約7,740平方メートル</p> <p>ウ 延床面積 約5,680平方メートル</p> <p>エ 1階 子育てサロン、休日応急診療所 2階 江北保健センター 3階 医療と介護の連携・研修センター 医療介護連携課 福祉まるごと相談課 地域包括支援センター江北 基幹地域包括支援センター西部 成年後見センターあだち</p> <p>(2) 施設のコンセプト及び機能 「もしも」に備えた医療・介護・健康の拠点</p> <p>① 妊娠から育児、健康生活を支える ② 健康寿命の延伸を支える ③ 高齢者の生活を支える</p> <p>2 今後の方針</p> <p>在宅療養推進のため、「すこやかプラザ あだち」に「医療と介護の連携・研修センター」を設置し、医療介護連携の拠点として整備していく。</p>

「すこやかプラザ あだち」の概要について

【別紙】

「もしも」にも備えた医療・介護・健康の新拠点
～『すこやかプラザ あだち』令和7年1月オープン！～

医療、介護等の総合サービス拠点として各種施策に取り組みます！

【主要施設】

- 医療介護連携課 福祉まるごと相談課
- 成年後見センターあだち
- 基幹地域包括支援センター西部
- 地域包括支援センター江北
- 医療と介護の連携・研修センター
- 江北保健センター 江北休日応急診療所
- 子育てサロンすこやかプラザ あだち



第2の保健所 ～足立保健所の機能補完・バックアップ施設～

- 学校相当の耐震性能
- 荒川氾濫時の浸水に備えて主要機器等を2階以上に配置
- 72時間施設を稼働可能とする非常用発電機の完備

非常時でも
保健所機能維持



1 在宅療養の連携強化！ 医療と介護の連携・研修センターを設置します！ 【1,100千円】 NEW

【事業の目的・概要】

通院等が困難になっても、訪問型の医療や介護サービスを利用しながら「住み慣れた地域に住み続ける」ための、「在宅療養」を推進するセンター運営の一部を委託します。

- ① 医療介護関係者への在宅療養に関する研修会や、情報を共有し顔の見える関係づくりを行う交流会の開催
- ② 地域住民への在宅療養啓発シンポジウムの開催 など



【大研修室イメージ図】

WEB会議や配信機能を備えた「大研修室」では、医療介護職のスキルアップや連携促進のための研修などを実施



【研修参加団体】

- 足立区医師会
- 東京都足立区歯科医師会
- 足立区薬剤師会
- 足立区介護サービス事業者連絡協議会
- 東京都柔道整復師会足立支部
- あだちPOSネットワーク
- 東京都栄養士会足立支部
- 足立区多機能サービス連絡会
- 足立区地域包括支援センター



詳しくはコチラへ

【研修会の様子】

事業名：在宅医療・介護連携推進事業
包括的相談支援事業
健康リスタート事業



2 『福祉まるごと相談課』を創設！ あらゆる相談を受けとめる包括的相談支援を開始！【70,244千円】 NEW

【事業の目的・概要】

「地域共生社会」を目指す重層的支援体制整備の第一歩として、『福祉まるごと相談課』を創設し、アウトリーチも含め、誰でも・何でも・あらゆる相談をまるごと受け止める、包括的な相談支援を開始します。

くらしとしごとの
相談センター



福祉まるごと相談課

STEP1

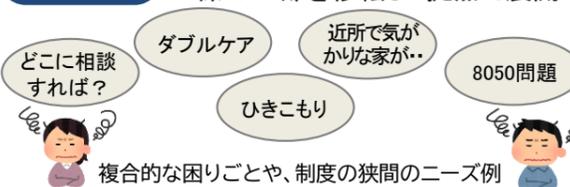
令和6年4月～
本庁舎で包括的相談スタート

ここが変わる！

- ① 複合的な困りごと等を支援するため、庁内・多機関が協働し、支援の方向性等を検討する会議を新たに設置
- ② 重層的支援体制整備に向けた、組織・分野横断的な連携強化のための職員研修を実施（地域共生社会の理念、複合・複雑ケースの共有等）

STEP2

すこやかプラザ あだち開設～
係の一部を移転し2拠点で展開



【主な経費】

- ① 地域懇談会実施経費 6,600千円
(区内10地区×各1回想定)
→ 重層的支援体制の土台づくりや地域課題の把握
- ② 自立支援委託経費 54,030千円
→ 寄り合い支援実施事業者への委託
- ③ 就労支援準備経費 1,300千円

3 自身の健康に『気づく』『学ぶ』『体験する』 健康リスタート事業を開始！ 【6,598千円】 NEW

【事業の目的・概要】

体調の変化を自覚し始める60歳を対象に、今後さらに20～30年を現役世代として活躍できる体づくりや、健康づくりを進めるための健康教室等をスタートします。

1 60歳からの健康リスタート教室

体調の変化を自覚し始める60歳をターゲットに、健康チェック機器を利用し、自身の健康状態に『気づき』、生活習慣の行動変容にむけて『学び』、『体験し』、『実践』できる健康教室等を実施します。

【実施概要】

- 定員 : 25名
- 対象者 : 60歳の足立区民
- 開催日時: 平日・土曜 (月2回)
- 夜間簡易版 (年4回)



4種の 教室

- 健康チェック
- 口腔ケア教室
- 生活習慣教室
- 栄養教室

2 健康チェック機器の設置

年齢不問で気軽に利用できます。
【主な設置機器】 体組成計、ベジチェック、脳年齢チェック、歯周病菌等観測器 等

『気づく』 『学ぶ』 『体験する』 『実践する』

3 健康コンシェルジュの設置

- ア 一般健康相談
- イ 将来の妊娠のための初期相談等



担当課係	①江北保健センター 庶務係 ②地域包括ケア推進課 医療・介護連携推進担当係 (医療介護連携課 医療介護連携推進係) ③福祉管理課 地域保健福祉計画・重層的支援体制整備担当 (福祉まるごと相談課 包括的相談支援係)	問合せ先 (直通)	①3896-4011 ②3880-5643 ③3880-5076
------	--	--------------	--

件 名	令和 5 年度認知症月間の実施結果について																
所 管 部 課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課																
内 容	<p>標記の件について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 認知症に関するパネル展示</p> <p>(1) アリオ西新井 (9月1日～29日)</p>  <p>(2) 足立区役所 1 階アトリウム (9月4日～21日)</p>  <p>2 アリオ西新井イベント (9月23日・24日)</p> <p>(1) 認知症の理解をテーマにしたデジタルクイズ参加者</p> <table border="0"> <tr> <td>ア</td> <td>9月23日</td> <td>130人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>9月24日</td> <td>143人</td> <td>合計273人</td> </tr> </table> <p>(2) 認知症 VR 体験参加者 (9月24日のみ)</p> <table border="0"> <tr> <td>ア</td> <td>大人</td> <td>103人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>子ども</td> <td>6人</td> <td>合計109人</td> </tr> </table>	ア	9月23日	130人		イ	9月24日	143人	合計273人	ア	大人	103人		イ	子ども	6人	合計109人
ア	9月23日	130人															
イ	9月24日	143人	合計273人														
ア	大人	103人															
イ	子ども	6人	合計109人														



3 認知症施策に関するデジタルアンケート結果

別添のとおり

4 今後の方針

認知症施策に関するアンケートから、認知症に対する不安や認知症施策の認知度の低さが現れていた。一方で、全年代で「認知症サポーターは知らなかったが興味がある」との回答が半数以上いた。

この結果を踏まえ、次年度は認知症サポーター拡大を図ることを中心とした普及啓発や予防の取り組みを進め、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる「共生」を目指していく。

令和5年度 認知症施策アンケート 調査結果

福祉部高齢者施策推進室長付
地域包括ケア推進課 認知症施策推進担当

• 目的

区民の認知症施策のニーズや理解度を把握し、今後の効果的な情報発信や事業実施をするうえでの指標とするため、9月の認知症月間を利用して認知症施策に関するアンケートを実施した。

• 概要

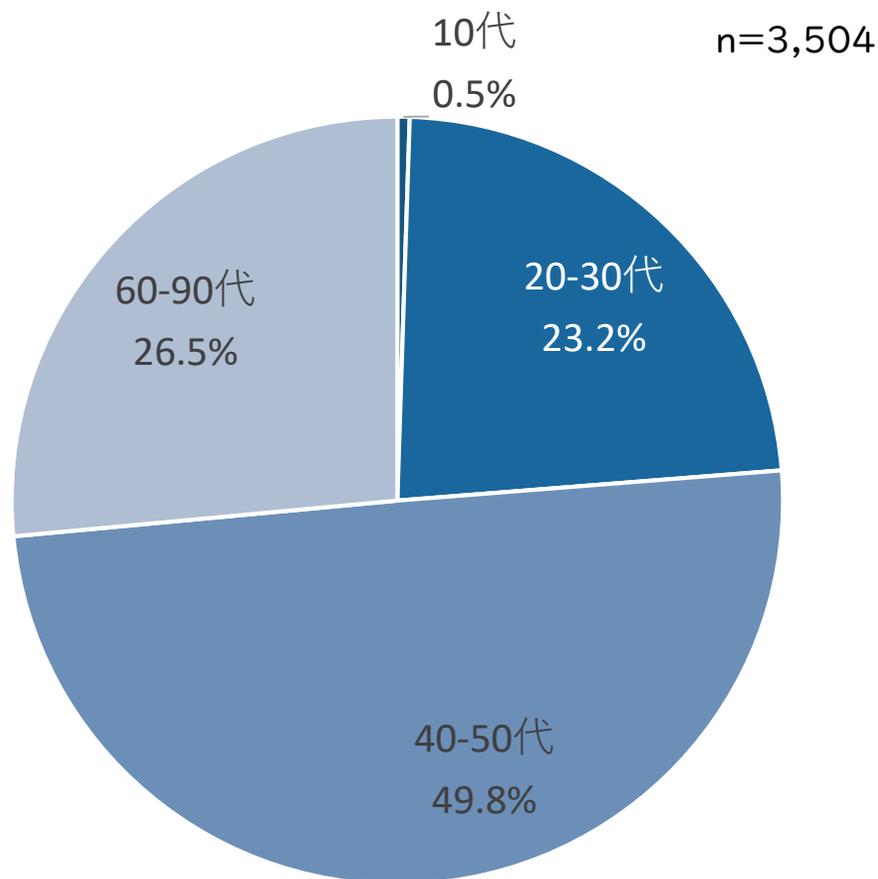
期 間：令和5年8月17日から令和5年9月30日まで

方 法：足立区オンライン申請サービス
ポスター、リーフレット、SNS、HP等を利用してアンケートを周知

対 象：区内在住・在勤・在学の方

回答数：3,504件

・ 回答者の年代



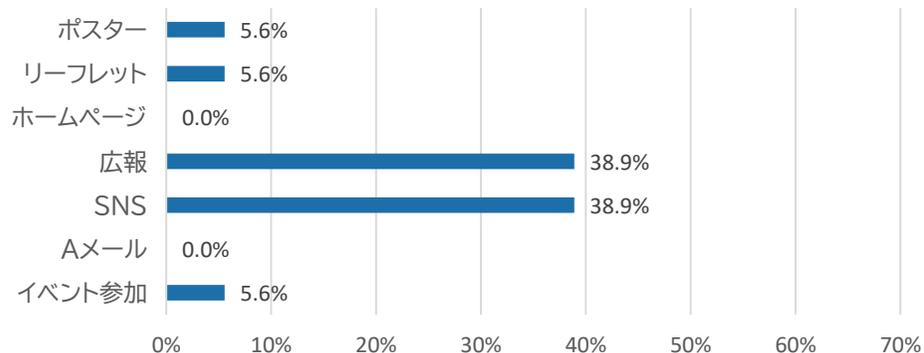
合計3,504人の参加があり、幅広い年齢層の意見を聴取できた。

※ 10代は18名と回答者が少ないため、参考値としてデータを見る必要がある。

年代×情報の入手元

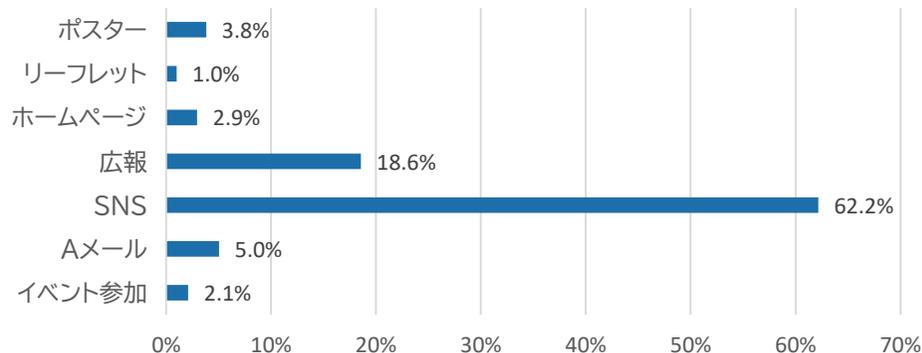
《10代》

n=18



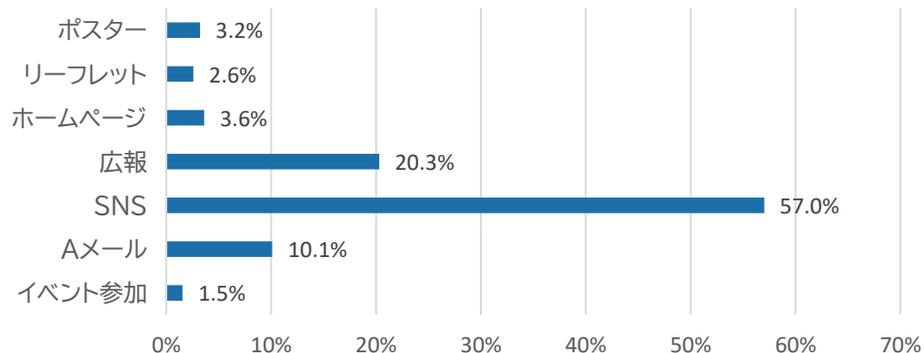
《20-30代》

n=814



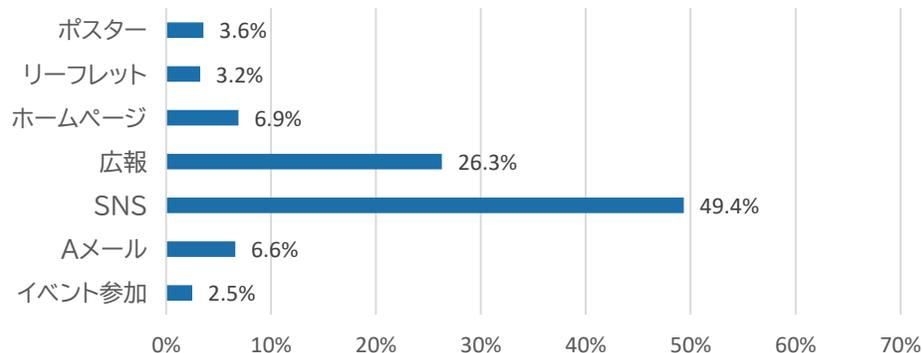
《40-50代》

n=1,744



《60-90代》

n=928

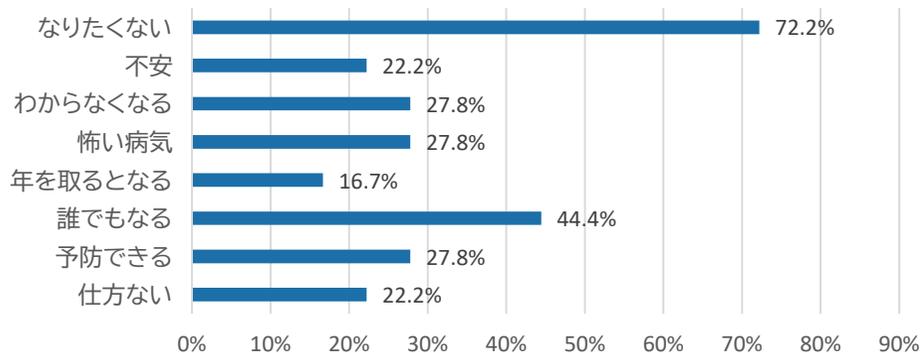


全年代でSNSによる情報入手が最も多く、次いで広報という結果となり合わせると75%以上となる。この2つが周知に効果的ということが分かった。

年代×認知症のイメージ

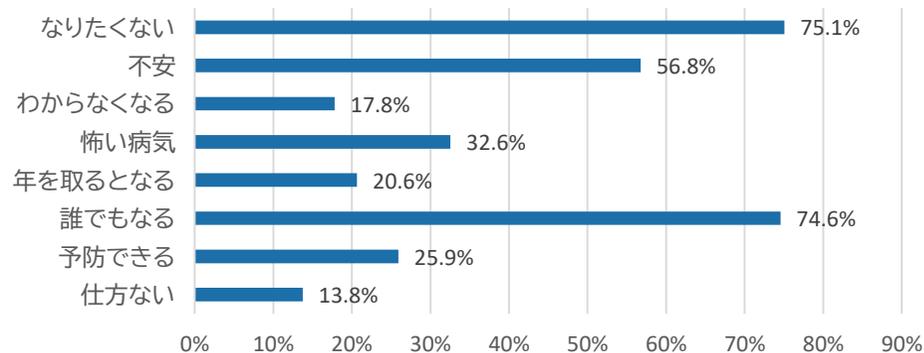
《10代》

n=18



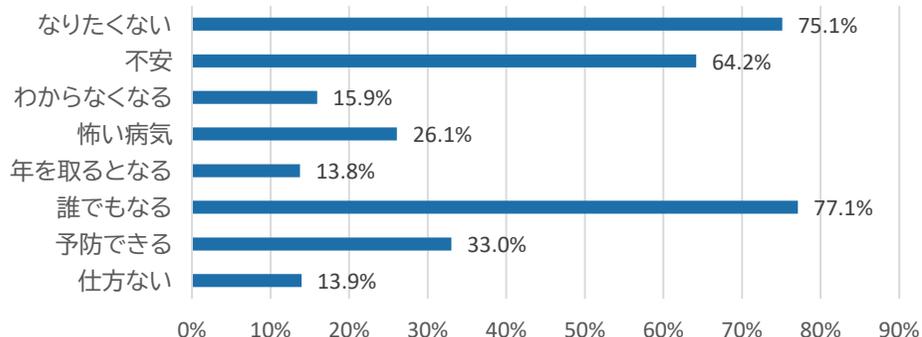
《20-30代》

n=814



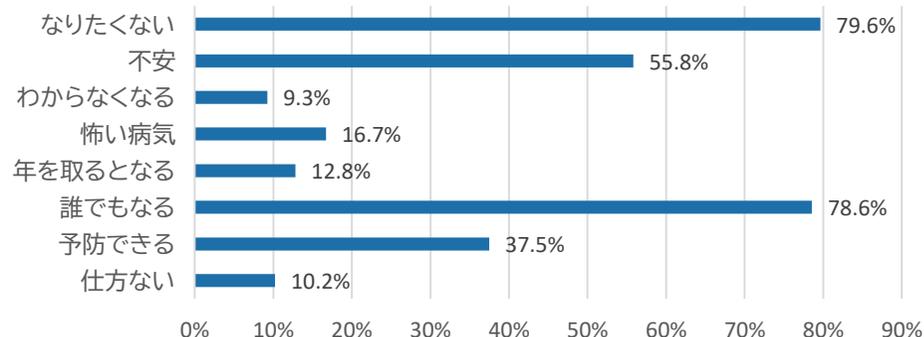
《40-50代》

n=1,744



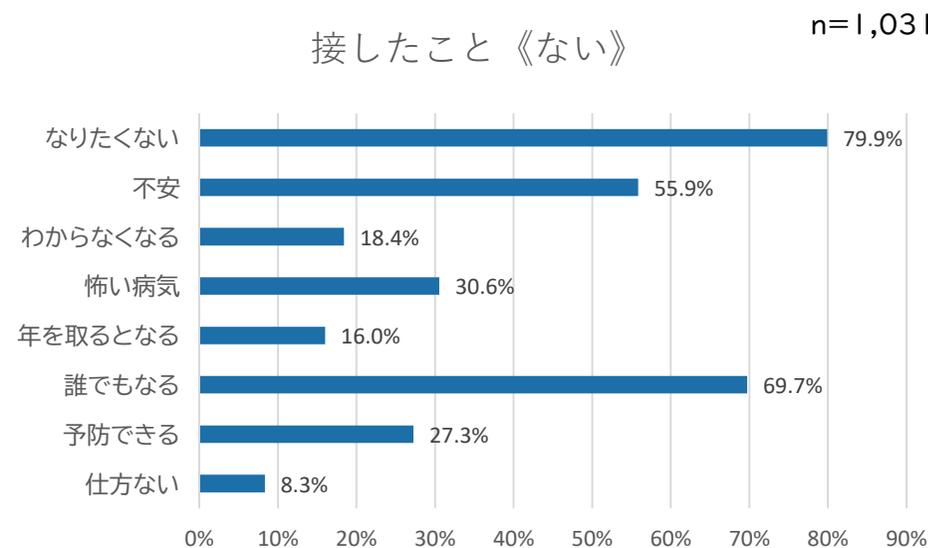
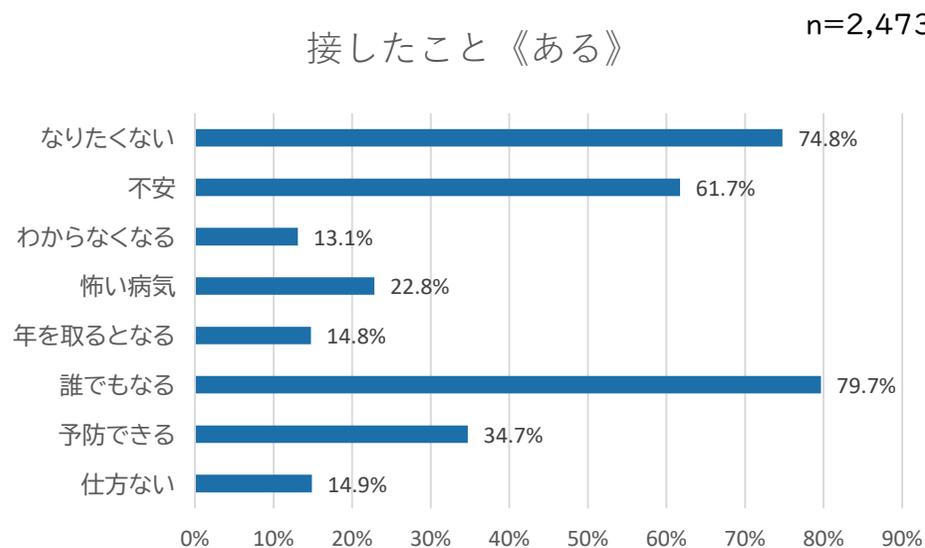
《60-90代》

n=928



全年代で「なりたくない」「誰でもなる」の回答が多かった。また、「不安」と回答割合が高い一方、「予防できる」の回答が3割程度にとどまった。今後は予防に関する正しい知識の啓発に努める。

・ 接した経験×認知症のイメージ

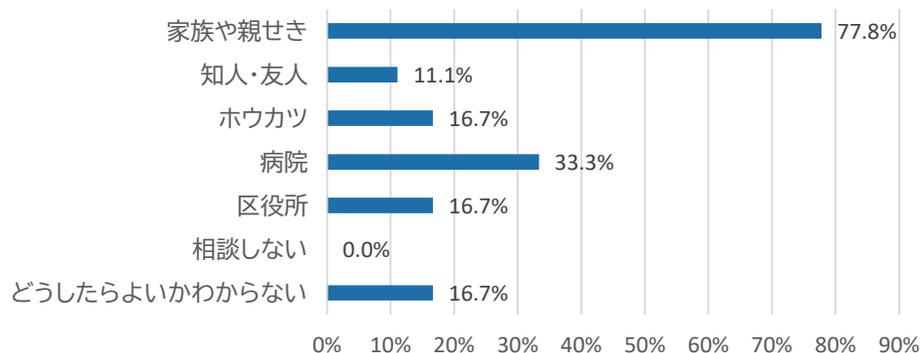


接したことがある人とない人で、大きな差は見られなかったが、あると回答した方が「誰でもなる」「予防できる」の割合が高く、経験から知識につながっていることが推測される。

年代×「認知症かな？」と感じた時の相談先

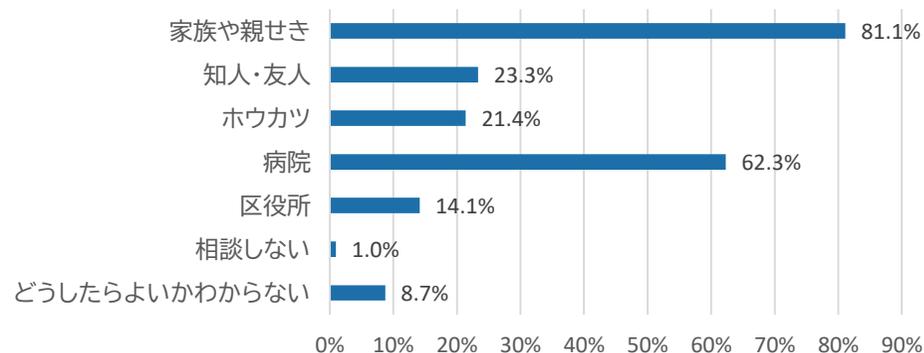
《10代》

n=18



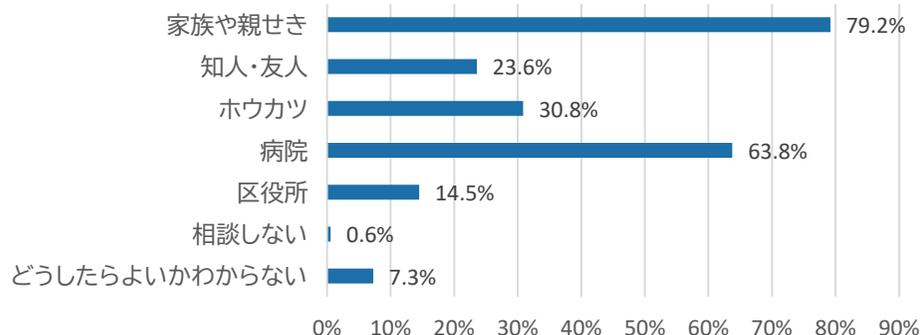
《20-30代》

n=814



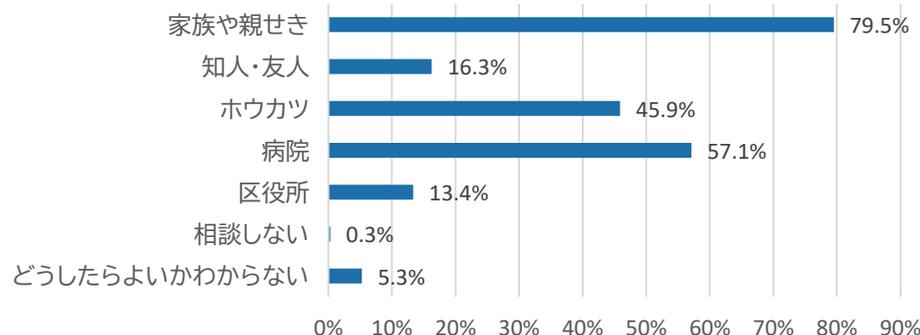
《40-50代》

n=1,744



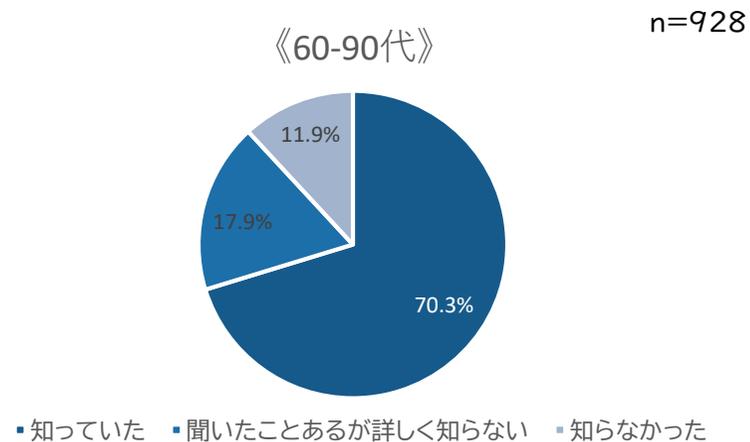
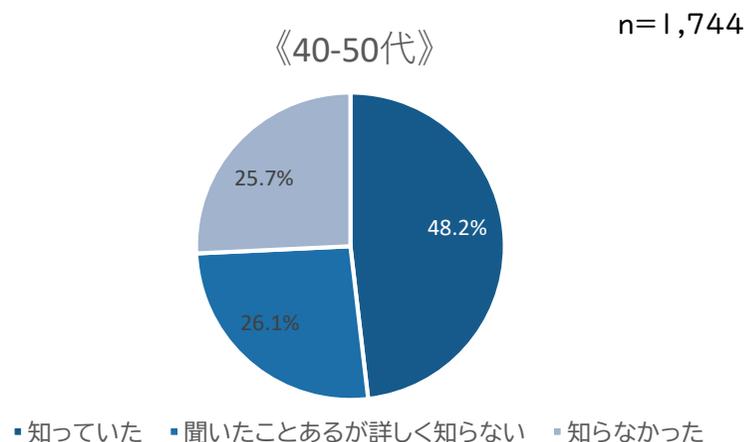
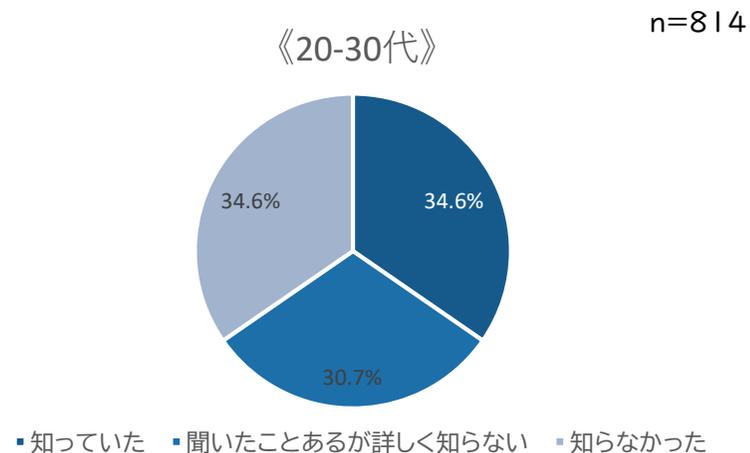
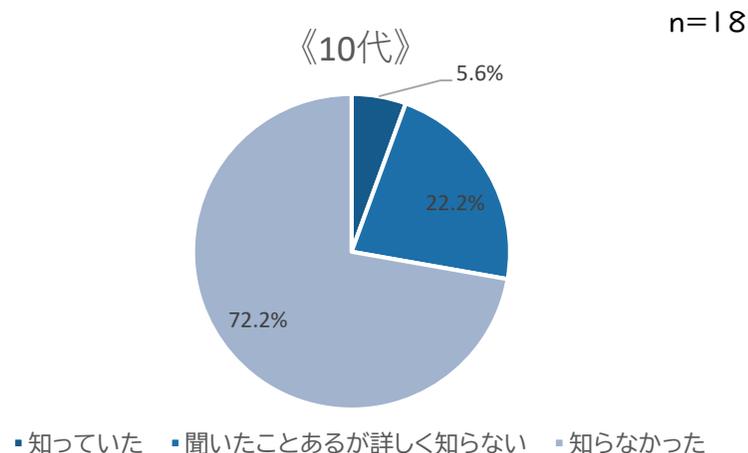
《60-90代》

n=928



全年代で「家族や親せき」が最も多い結果となった。年代が上がるにつれ、ハウカツ（地域包括支援センター）の割合が増えているが60-90代でも半数に満たないことがわかった。相談先について、「まずはハウカツ」という情報発信を強化する必要がある。

年代×ホウカツの認知度

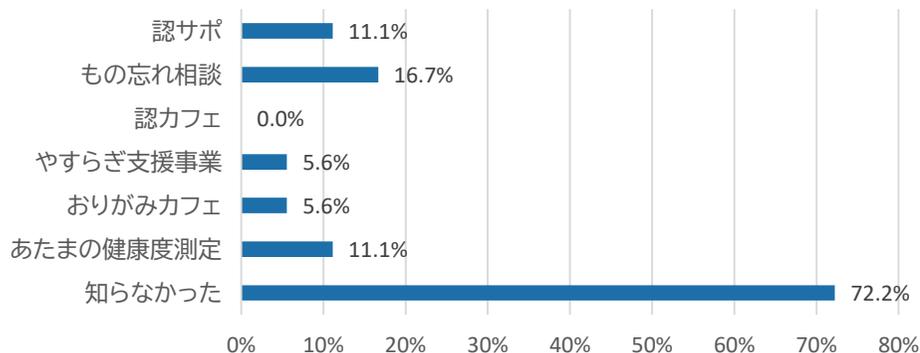


年代が上がるにつれ、ホウカツの認知度が高くなっている。自分の親が高齢者になる40-50代の認知度を増やせるよう周知を強化していく必要がある。

・年代×知っている区の取り組み

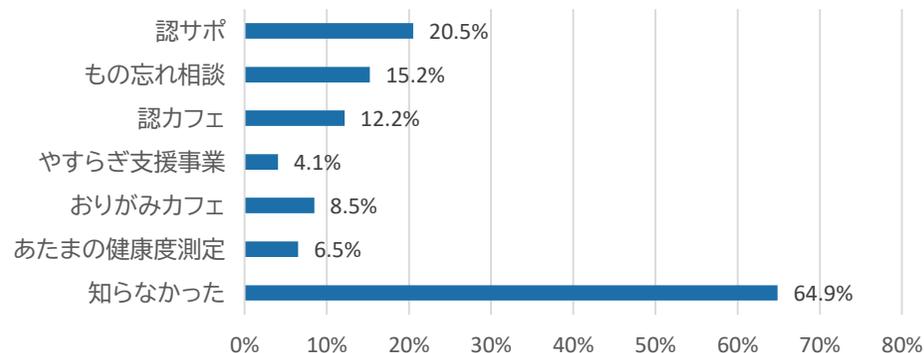
《10代》

n=18



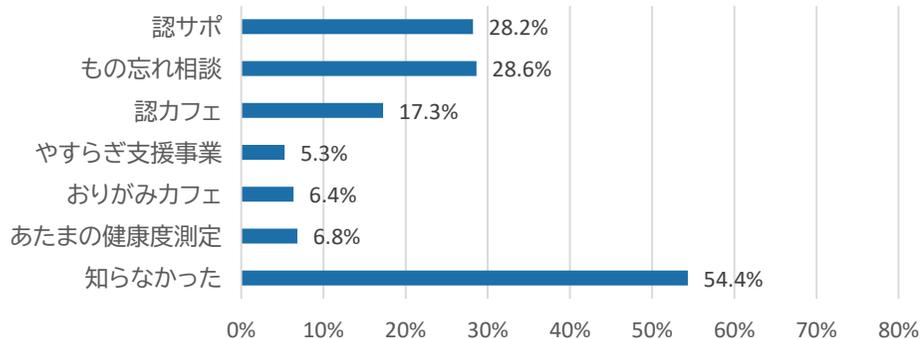
《20-30代》

n=814



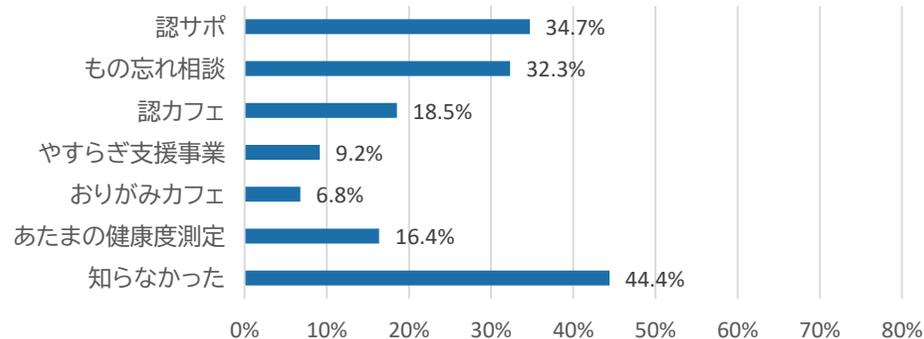
《40-50代》

n=1,744



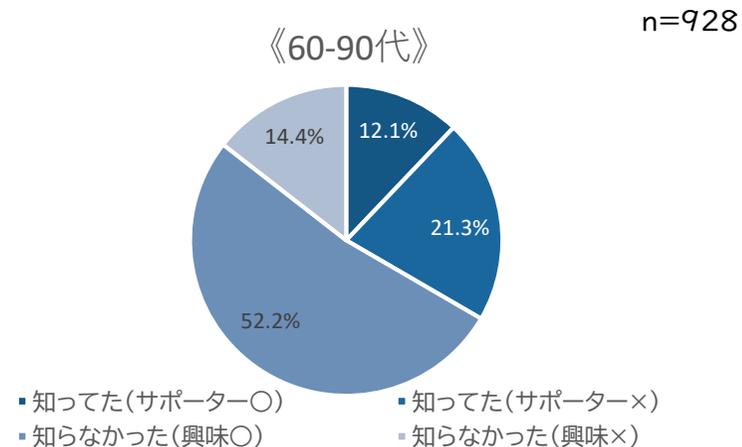
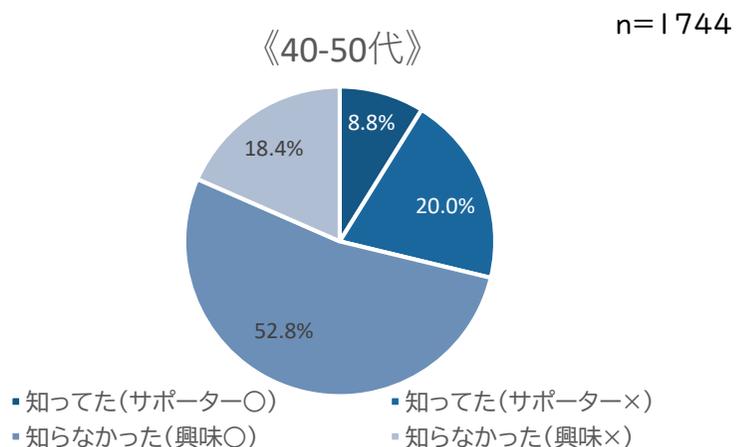
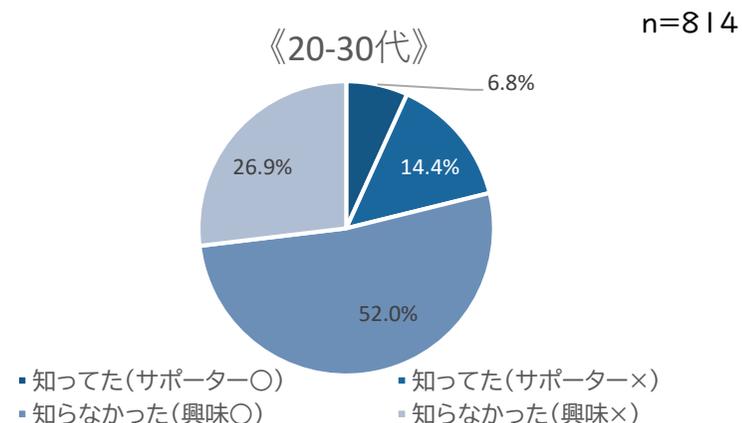
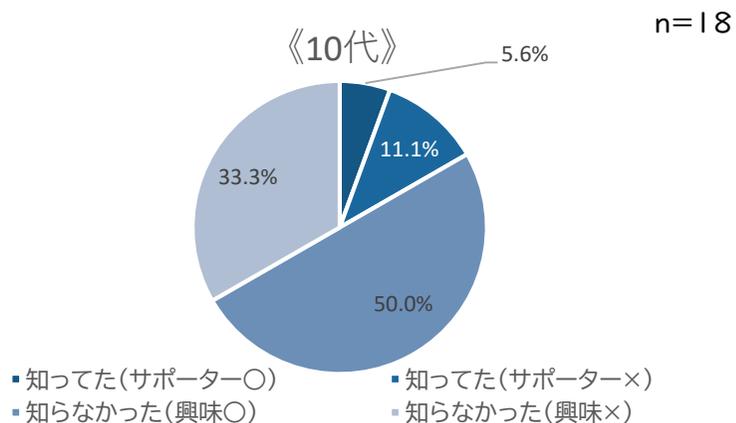
《60-90代》

n=928



全年代で「知らなかった」の回答が最も多い結果となった。

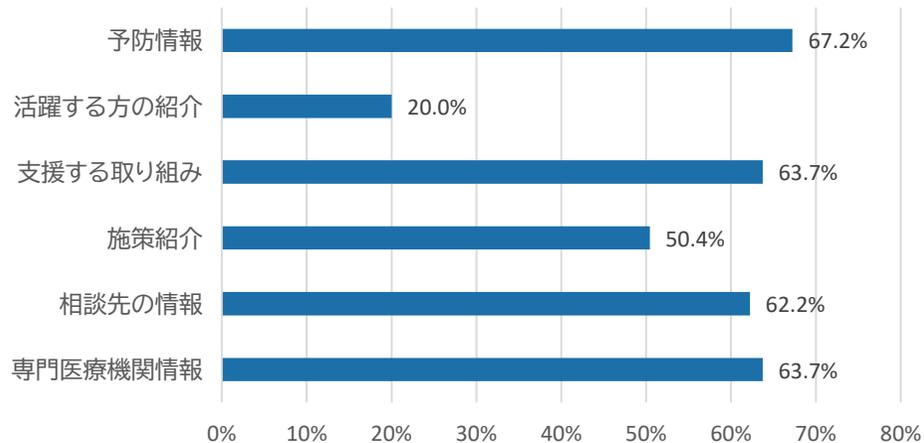
年代×認知症サポーター認知度



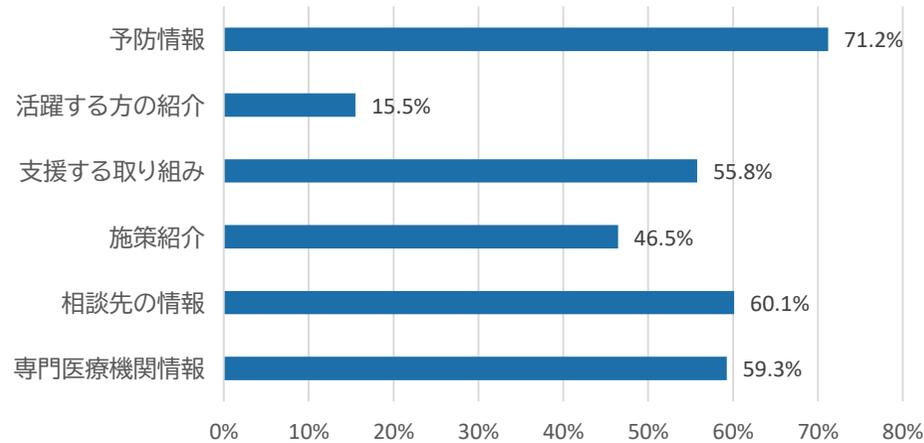
全年代で「知らなかったが興味がある」の回答が最も多く、この層に積極的にアプローチをかけることで、サポーター増につながる可能性がある。

・接した経験×区からほしい情報

接したこと《ある》 n=2,473



接したこと《ない》 n=1,031

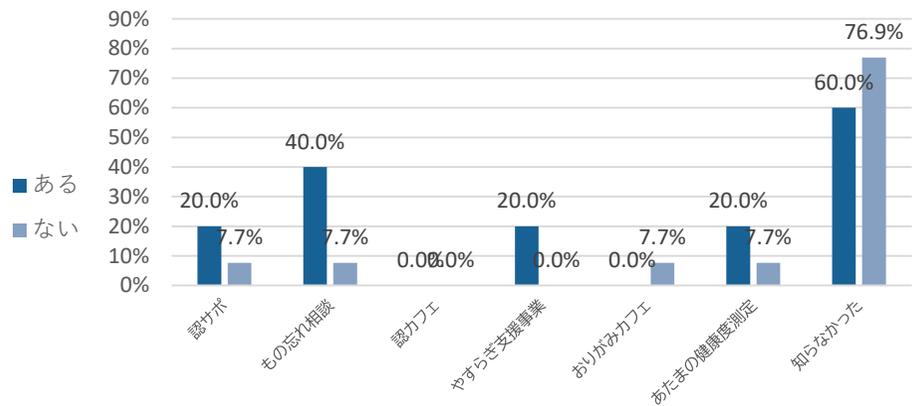


どちらも「予防情報」が最も高かった。認知症の理解や知識の啓発だけでなく、ニーズに応えて予防情報の発信もさらに強化していく。

年代×接した経験×知っている区の取り組み

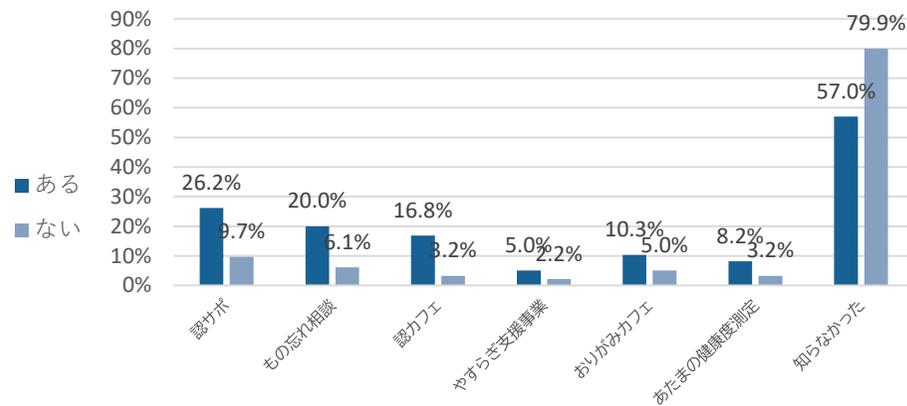
《10代》

n=18



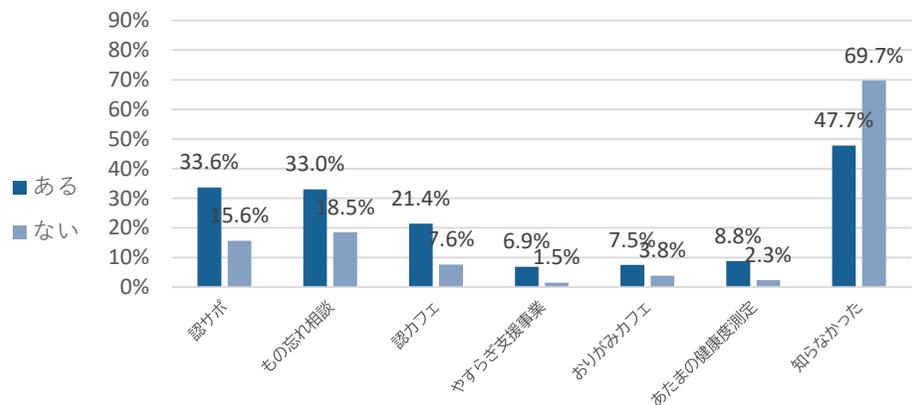
《20-30代》

n=814



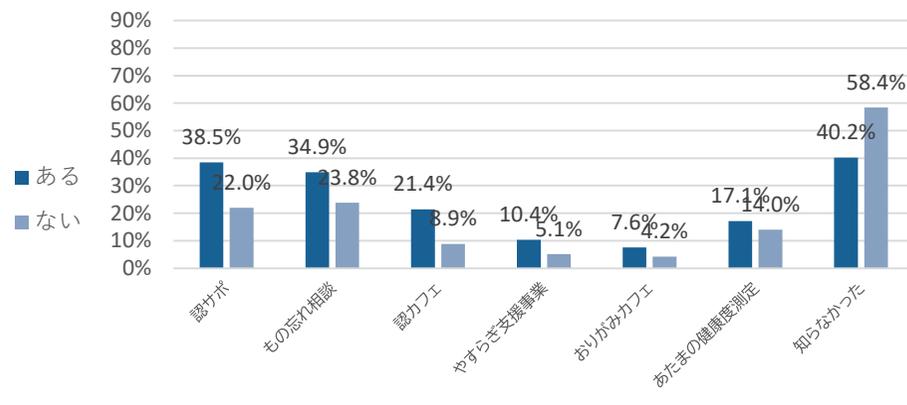
《40-50代》

n=1744



《60-90代》

n=928

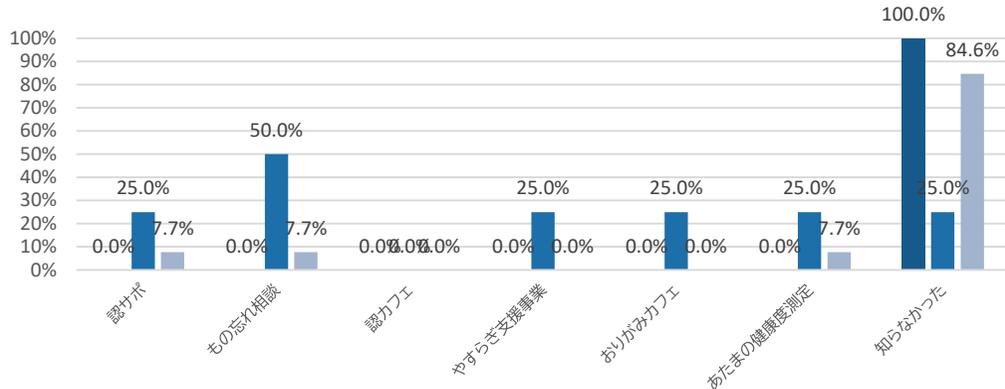


全年代総じて、接した経験がある方が区の取り組みを知っていることが分かった。経験するほど自分事ととらえられるようになるため、体験系のイベントやカフェの事業を活性化させていきたい。

年代×ホウカツの認知度×知っている区の取り組み

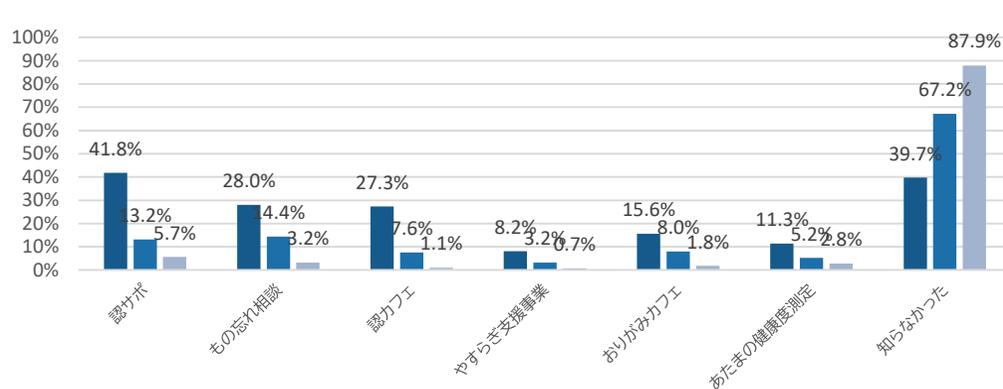
《10代》

n=18



《20-30代》

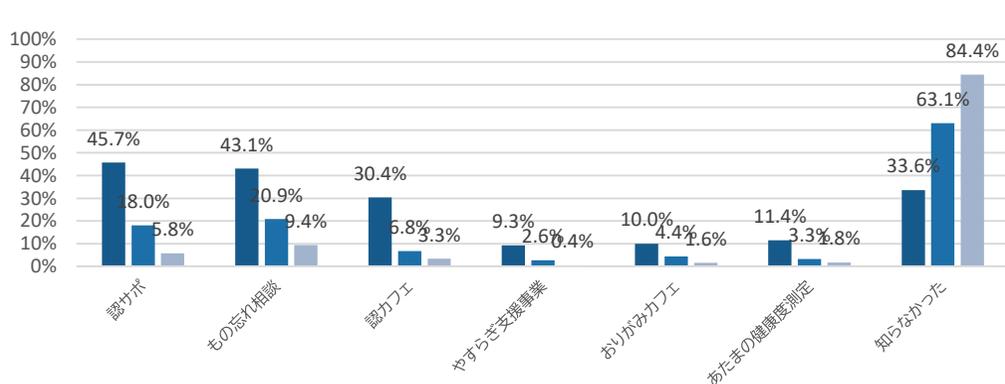
n=814



■既知 ■ ホウカツの名前は聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった ■ 知らなかった

《40-50代》

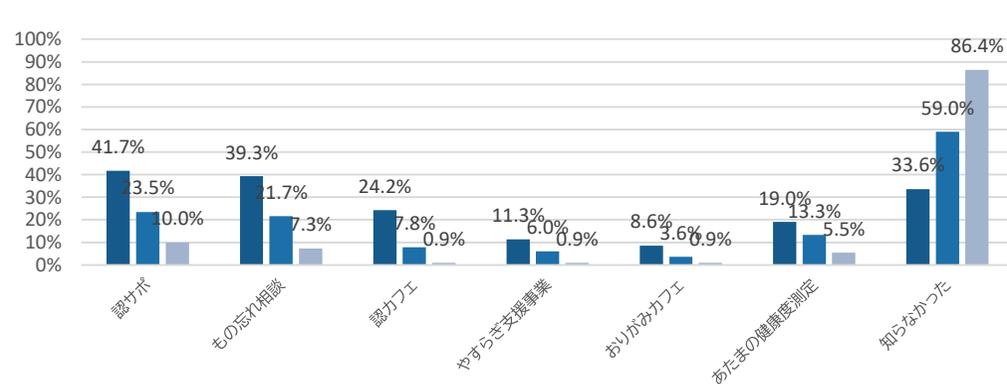
n=1744



■既知 ■ ホウカツの名前は聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった ■ 知らなかった

《60-90代》

n=928



■既知 ■ ホウカツの名前は聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった ■ 知らなかった

全年代でホウカツを知っていると答えた人ほど区の取り組みを知っていることが分かった。ホウカツでの事業案内が区の取り組みを知るきっかけにつながるということが分かったため、より事業周知を強化していく。

・ 総論

○ 認サポの充実(若年層、興味関心層)

「知らなかったが興味がある」と回答した方が半数以上いたため、今後はSNSや広報などを活用して、その層が目を引くような情報発信を行っていく。また、日時や会場等も配慮し、参加しやすい環境整備に努める。

○ ホウカツの周知について

認知症かな？と感じた時の相談先の質問で、ホウカツと回答する方は年代が上がるにつれて増加したが、半数にも満たなかった。「まずはホウカツ」の定着を図るための情報発信を強化していく。

○ 区の情報発信の内容について

区からほしい情報は、接したことの有無に限らず「予防情報」の回答が最も多かった。今までは認知症の理解に関する情報や知識の啓発の発信に重点を置いていたが、ニーズに応えて予防に関する情報の発信を強化していく。

○ 認知症の方ご本人を知る機会等の提供

知っている区の取り組みについて、認知症の方と接したことがあるかどうかで見たところ、全年代総じて接したことのある方が区の取り組みを知っていることが分かった。

経験するほど自分事と捉えられるようになるため、体験系のイベントの機会を増やしたり、認知症カフェの活性化を図っていく必要がある。

令和5年度 第2回地域包括ケアシステム推進会議

令和6年3月15日

件名	令和5年度あたまの健康度測定（認知症検診推進事業）の実施結果について																																																				
所管部課	福祉部 高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課																																																				
内容	<p>標記の件について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 集団測定の実施内容と結果</p> <p>(1) 日程 令和5年7月8日（土）、9日（日）</p> <p>(2) 場所 シアター1010 11階ギャラリー</p> <p>(3) 対象 令和5年度に70歳を迎えた方 （昭和28年4月1日～昭和29年3月31日生まれの方）</p> <p>(4) 募集人員 200人</p> <p>(5) 内容 医師による問診、認知機能検査等</p> <p>(6) 検診結果</p> <p>ア 検診案内発送数、申込者数、受診者数</p> <table border="1" data-bbox="497 1167 1433 1391"> <thead> <tr> <th></th> <th>発送数</th> <th>申込者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率 (受診者数/発送数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>3,319</td> <td>83</td> <td>71</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>3,239</td> <td>117</td> <td>96</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,558</td> <td>200</td> <td>167</td> <td>2.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 判定結果及び医療機関連絡票・伴走支援制度連絡票発行数</p> <table border="1" data-bbox="497 1464 1433 1861"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">疑いなし</th> <th rowspan="2">疑いあり</th> <th colspan="4">(内 訳)</th> </tr> <tr> <th>医療機関連絡票発行</th> <th>伴走支援制度連絡票発行</th> <th>両方発行</th> <th>発行なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>63 (88.7%)</td> <td>8 (11.3%)</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>83 (86.5%)</td> <td>13 (13.5%)</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>146 (87.4%)</td> <td>21 (12.6%)</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 未受診者には、認知症訪問支援事業やもの忘れ相談事業で対応している。来年度は集団検診終了後、未受診者の方へ再度個別検診の案内をするよう進めていく。</p>		発送数	申込者数	受診者数	受診率 (受診者数/発送数)	男性	3,319	83	71	2.1%	女性	3,239	117	96	3.0%	計	6,558	200	167	2.5%		疑いなし	疑いあり	(内 訳)				医療機関連絡票発行	伴走支援制度連絡票発行	両方発行	発行なし	男性	63 (88.7%)	8 (11.3%)	3	0	4	1	女性	83 (86.5%)	13 (13.5%)	8	1	4	0	計	146 (87.4%)	21 (12.6%)	11	1	8	1
	発送数	申込者数	受診者数	受診率 (受診者数/発送数)																																																	
男性	3,319	83	71	2.1%																																																	
女性	3,239	117	96	3.0%																																																	
計	6,558	200	167	2.5%																																																	
	疑いなし	疑いあり	(内 訳)																																																		
			医療機関連絡票発行	伴走支援制度連絡票発行	両方発行	発行なし																																															
男性	63 (88.7%)	8 (11.3%)	3	0	4	1																																															
女性	83 (86.5%)	13 (13.5%)	8	1	4	0																																															
計	146 (87.4%)	21 (12.6%)	11	1	8	1																																															

2 個別測定の実施内容と結果

- (1) 日程
令和5年5月22日(月)～8月31日(木)
- (2) 場所
区内指定医療機関(48か所)
- (3) 対象
ア 令和5年度に70歳を迎えた方
(昭和28年4月1日～昭和29年3月31日生まれの方)
イ 令和5年度に71歳を迎えた方
(昭和27年4月1日～昭和28年3月31日生まれの方)
- (4) 募集人員
300人
- (5) 内容
医師による問診、認知機能検査等
- (6) 検診結果
ア 検診案内発送数、受診者数

	発送数	受診者数	受診率 (受診者数/発送数)
71歳	6,925	121	1.7%
70歳	6,558	286	4.4%
計	13,483	407	3.0%

イ 判定結果及び医療機関連絡票・伴走支援制度連絡票発行数

		疑いなし	疑いあり	(内訳)			
				医療機関連絡票発行	伴走支援制度連絡票発行	両方発行	発行なし
71歳	男性	53	8	4	1	2	1
	女性	54	6	2	2	2	0
	計	107	14	6	3	4	1
70歳	男性	109	13	7	3	3	0
	女性	153	11	7	1	2	1
	計	262	24	14	4	5	1
合計	男性	162	21	11	4	5	1
	女性	207	17	9	3	4	1
	計	369	38	20	7	9	2

※ 未受診者には、認知症訪問支援事業やもの忘れ相談事業で対応している。

3 伴走支援対象者の経過

	希望者数	うち	利用者数	支援終了 (R5. 12月 時点)
		キャンセル		
令和4年度 集団	4	2	2	2
令和5年度 集団	9	1	8	4
令和5年度 個別	16	5	11	8
計	29	8	21	14

4 今後の方針

認知症検診事業は、より早くご本人や家族が変化に気づき適切な医療に結びつくよう、軽度認知障害にも対応できる新たな仕組みを活用し、医療の必要がある人を確実に専門医療機関につなげる仕組みを検討していく。